

学 則

(平成29年4月1日)

大 妻 女 子 大 学

大妻女子大学学則

制定	昭和48年4月1日	改正	昭和50年4月1日	改正	昭和51年4月1日
改正	昭和52年4月1日	改正	昭和53年4月1日	改正	昭和54年4月1日
改正	昭和55年4月1日	改正	昭和56年4月1日	改正	昭和57年4月1日
改正	昭和58年4月1日	改正	昭和59年4月1日	改正	昭和60年4月1日
改正	昭和61年4月1日	改正	昭和62年4月1日	改正	昭和63年4月1日
改正	平成元年4月27日	改正	平成2年4月1日	改正	平成3年4月1日
改正	平成3年6月24日	改正	平成3年9月24日	改正	平成3年12月24日
改正	平成4年12月18日	改正	平成6年1月27日	改正	平成7年2月1日
改正	平成8年2月1日	改正	平成8年10月28日	改正	平成9年1月30日
改正	平成9年11月4日	改正	平成11年1月29日	改正	平成12年3月30日
改正	平成13年3月29日	改正	平成13年5月25日	改正	平成14年3月22日
改正	平成15年1月28日	改正	平成16年1月27日	改正	平成16年10月26日
改正	平成18年1月27日	改正	平成18年3月29日	改正	平成18年7月28日
改正	平成18年12月19日	改正	平成20年1月30日	改正	平成20年3月27日
改正	平成21年3月26日	改正	平成22年1月28日	改正	平成23年1月28日
改正	平成24年1月30日	改正	平成24年3月28日	改正	平成25年1月29日
改正	平成25年3月27日	改正	平成26年1月30日	改正	平成26年1月30日
改正	平成27年3月27日	改正	平成27年7月24日	改正	平成27年12月21日
改正	平成27年12月21日	改正	平成28年10月28日	改正	平成29年1月27日

第 1 章 総 則

第1条 本学は教育基本法に基づき、学校教育法の定めるところに従い、広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究して、応用的能力の展開と人格の完成に努め、高い知性と豊かな情操を有する女性の育成を目的とする。

第2条 本学は、学校法人大妻学院がこれを設置する。

2 本学は東京都千代田区三番町12番地及び東京都多摩市唐木田2丁目7番地1に置く。

第2条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第 2 章 学部及び学科

第3条 本学に、次の学部、学科及び専攻を置く。

家政学部	被服学科	
	食物学科	食物学専攻 管理栄養士専攻
	児童学科	児童学専攻 児童教育専攻
	ライフデザイン学科	
文学部	日本文学科	
	英文学科	
	コミュニケーション文化学科	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻 環境情報学専攻 情報デザイン専攻
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻 社会・臨床心理学専攻
	人間福祉学科	人間福祉学専攻 介護福祉学専攻

比較文化学部 比較文化学科

2 本学に大学院を置く。大学院の規程は別に定める。

3 本学に人間生活文化研究所を置く。人間生活文化研究所の規程は別に定める。

第3条の2 各学部、学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

一 家政学部

新しい時代に求められる学びをリードする「未来志向型サイエンス」を主軸に教育を行い、自立心あふれる職業人を育成する。

イ 被服学科

衣を通して、イマジネーションにあふれる生活を創造し、新しい価値観と豊かな心を育み、夢のある社会の形成に参加できる人を育成する。

ロ 食物学科

「食」の専門家として高度な技術と知識を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

- ハ 児童学科
子どもの成長を総合的に支援していくために必要な専門性をもった人材を育成する。
- ニ ライフデザイン学科
21世紀に求められる真に豊かな生活や自立した生き方をデザインし、提言できる人材を育成する。
- 二 文学部
「ことば」による広い意味でのコミュニケーションを教育のテーマとし、実技と知識・感覚の錬磨を学修と教育の両輪とすることにより、時代の進展に柔軟に適應できる有為な人材を養成する。
 - イ 日本文学科
日本語と日本文学を通して、人間理解を深め、豊かな教養と人間性を養う。
 - ロ 英文学科
英語とそれを中心とした文学や文化の学修を通して、人間理解を深め、国際性豊かな人材を育成する。
 - ハ コミュニケーション文化学科
国際性、現代性、学際性をキーワードに、社会・文化をとらえ、国際的なコミュニケーションの場で自立できる女性を育成する。
- 三 社会情報学部 社会情報学科
現代社会が要求する情報リテラシーを修得し、高度に発達したIT社会で活躍することのできる人材を養成する。
社会生活情報学専攻では、意思決定と自己表現ができる、社会知識のある女性を育成する。
環境情報学専攻では、環境問題の発生から解決までを学び、総合的な視点を養うことのできる人材を育成する。
情報デザイン専攻では、高度な情報処理能力によって情報システムを具現化できる人材、及びヒューマンスキルに基づいて情報を的確に表現できる人材を育成する。
- 四 人間関係学部
「共生社会」の実現を目指して、さまざまな人々や社会と共存するための知識を学び、人間関係や社会についての洞察力を身につけ、人間の幸福や福祉についての深い理解を修得し、柔軟な想像力・すぐれた問題解決能力・実践力を備えた心豊かな人材を育成する。
 - イ 人間関係学科
社会学専攻では、社会的想像力と社会調査のスキルを備え、幅広い視野と柔軟な発想を持った人材を育成する。
社会・臨床心理学専攻では、人間関係にまつわる問題に、適切に対処できる「人間関係力」を備えた人材を育成する。
 - ロ 人間福祉学科
生活を送る上で様々な課題を持っている人々が、「共生」できる社会を創ることに貢献できる人材を養成する。
- 五 比較文化学部 比較文化学科
2カ国語を修得し、各地域毎の文学、美術、宗教、政治、歴史などを日本文化と比較研究することにより、急激に変化する国際社会にも柔軟に対応できる人材を育成する。

第 3 章 授業科目

第4条 本学における各学部の授業科目は別表（1）のとおりとする。

- 2 教職、司書、司書教諭及び学芸員に関する専門科目はそれぞれ別表（2）、別表（3）、別表（4）及び別表（5）のとおりとする。

第 4 章 履修方法、卒業の認定及び学位の授与

第5条 修業年限は4年とし、在学年数は8年を超えることはできない。

- 2 毎学年の授業期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学年数は6年を超えることはできない。

第5条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。
- 4 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

第6条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする授業内容をもって1単位とすることを原則とし、当該授業による教育効果、授業外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - 三 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等については、学修の成果を評価するものとし、所定の単位を与える。

第7条 本学を卒業するためには、最低次の単位を修得しなければならない。

家政学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
被 服 学 科		34単位	90単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目は、6科目8単位を限度として認められる。
食物学科	食 物 学 専 攻	28単位	96単位	
	管 理 栄 養 士 専 攻	28単位	111単位	
児童学科	児 童 学 専 攻	34単位	90単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目は、6科目8単位を限度として認められる。
	児 童 教 育 専 攻	34単位	90単位	
ライフデザイン学科		34単位	90単位	

文学部

学 科	全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
日 本 文 学 科	37単位	88単位	他学科が履修を可とした科目は、8 科目16単位を限度として認められ る。
英 文 学 科	37単位	88単位	
コミュニケーション文化学科	37単位	90単位	

社会情報学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
社 会 情 報 学 科	社会生活情報学専攻	34単位	90単位	他専攻の授業科目は、10単位を 限度として認められる。
	環境情報学専攻	34単位	90単位	
	情報デザイン専攻	34単位	90単位	

人間関係学部

学 科・専 攻		全学共通科目	専 門 教 育 科 目	
人間関係 学科	社会学専攻	32単位	94単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、12科目24単位を限度として認 められる。 卒業のための最低修得単位数を超えて 修得した全学共通科目は、3科目6単 位を限度として認められる。
	社会・臨床心理学専攻	38単位	88単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、12科目24単位を限度として認 められる。
人間福祉 学科	人間福祉学専攻	26単位	100単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、17科目34単位を限度として認 められる。 卒業のための最低修得単位数を超えて 修得した全学共通科目は、6科目12 単位を限度として認められる。
	介護福祉学専攻	18単位	108単位	他専攻・他学科が履修を可とした科目 は、17科目34単位を限度として認 められる。 卒業のための最低修得単位数を超えて 修得した全学共通科目は、3科目6単 位を限度として認められる。

比較文化学部

学 科	全学共通科目	専 門 教 育 科 目
比 較 文 化 学 科	38単位	88単位

2 他学部の授業科目の履修及び修得単位について、次のとおり定める。

- (1) 社会情報学部においては、家政学部、文学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は11単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (2) 人間関係学部人間関係学科においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は社会学専攻は11単位、社会・臨床心理学専攻は17単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目

の単位数に含めることができる。

- (3) 人間関係学部人間福祉学科においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は人間福祉学専攻は8単位、介護福祉学専攻は2単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (4) 比較文化学部においては、家政学部、文学部、社会情報学部及び人間関係学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は7単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (5) 家政学部においては、文学部、社会情報学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は8単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。
- (6) 文学部においては、家政学部、社会情報学部、人間関係学部及び比較文化学部が別に指定した授業科目を履修することができる。これにより修得した単位は8単位を超えない範囲で前項に定める全学共通科目の単位数に含めることができる。

3 第1項の規定により卒業の要件として修得すべき単位のうち、第5条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

第7条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、次の各号の場合について準用する。

- 一 外国の大学又は短期大学に留学する場合
- 二 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合
- 三 外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合

3 前2項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第7条の3 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなした単位数と合わせ60単位を超えないものとする。

3 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第7条の4 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第7条の2第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせ60単位を超えない

いものとする。

4 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第8条 教育職員免許状を得ようとする者は、第7条に規定するもののほか、教育職員免許法及び同法施行規則に規定する単位を含めて修得しなければならない。

2 司書教諭の資格を得ようとする者は、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程の定めるところにより単位を修得しなければならない。

3 司書の資格を得ようとする者は、図書館法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

4 学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法及び博物館法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

5 保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行令及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

6 前各項に定める司書教諭、司書及び学芸員に関する専門科目は、第7条に定める所定の単位のほかに修得しなければならない。

7 栄養士の資格を得ようとする者は、栄養士法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

8 管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、管理栄養士学校指定規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

9 社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

10 精神保健福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

11 介護福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則の定めるところにより単位を修得しなければならない。

なお、社会福祉士介護福祉士学校養成施設指定規則に掲げる科目に相当する科目の出席時数が同規則に定める時間数の3分の2（ただし、介護実習については5分の4）に満たない者については、当該科目の単位は与えない。

第9条 各学部学科及び専攻において、取得できる教員免許状の種類及び教科は次のとおりとする。

学部	学科・専攻	教員免許状の種類	教科
家政学部	被服学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家庭
	食物学科 食物学専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家庭
		栄養教諭二種免許状	
	食物学科 管理栄養士専攻	栄養教諭一種免許状	
	児童学科 児童教育専攻	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状	
		幼稚園教諭一種免許状	
		中学校教諭一種免許状	

文 学 部	日本文学科	高等学校教諭一種免許状	国語
	英文学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語
社会情報学部	社会情報学科 社会生活情報学専攻	高等学校教諭一種免許状	情報
	社会情報学科 環境情報学専攻	高等学校教諭一種免許状	情報
		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
	社会情報学科 情報デザイン専攻	高等学校教諭一種免許状	情報
人間関係学部	人間福祉学科 人間福祉学専攻	高等学校教諭一種免許状	福祉
	人間福祉学科 介護福祉学専攻	高等学校教諭一種免許状	福祉

第10条 授業科目は、原則として配当された各年次において履修するものとする。

2 1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、別に定める。

第11条 学生が授業科目を履修した場合は試験を行い、合格者に対しては単位を与える。

2 試験は毎年前期及び後期の二期に筆記、口述及び論文等の方法によって行う。

3 試験の成績はS、A、B、C及びDとし、Dは不合格とする。

第12条 本学に4年以上在学し、第4条に定める授業科目及び第7条に定める単位数を修得した者については、教授会における審議を経て、卒業を認定する。ただし、本学に3年以上在学し、本学が定める卒業に必要な単位数を優秀な成績で修得したと認める場合は、第5条第1項の規定にかかわらず、早期に卒業を認めることがある。

2 前項により卒業を認定した者に対して学士の学位を授与する。

3 前項の学位の表記は、次のとおりとする。

家政学部 学 士 (家 政 学)

文学部 学 士 (文 学)

社会情報学部 学 士 (社会情報学)

人間関係学部 学 士 (人間関係学)

比較文化学部 学 士 (比較文化学)

4 第1項前段の規定にかかわらず、3年次編入学者の卒業に必要な在学年数は2年以上とする。

第 5 章 入学、退学、休学、復学、転学、留学、転部・転科・転専攻、編入学、再入学及び除籍

第13条 入学の時期は、学年の初めとする。

2 前項の規定にかかわらず、適当であると認めるときは、学期の初めにも入学させることができる。

第14条 本学に入学し得る者は、次の各号の一に該当する女子とする。

一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部

科学大臣の指定した者

四 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）

八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第15条 入学志願者に対しては、別に定めるところにより選考を行う。

第16条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに本人及び保証人の誓約書その他の書類を提出し、所定の納付金を納入しなければならない。

第16条の2 前条の入学手続を完了した者に入学を許可する。

第17条 保証人は父母又は近親者とする。

2 保証人は、その学生の在学中の身上に関する一切の事項について責任を負うものとする。

3 保証人について本学で適当でないと認めるときは変更させることがある。

第18条 疾病その他止むを得ない理由により退学しようとする場合は、許可を得て退学することができる。

第19条 疾病その他止むを得ない理由により、3か月以上欠席する場合は、許可を得て休学することができる。

2 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

3 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

第20条 前条の理由が解消したときは、許可を得て復学することができる。

第21条 休学の期間は在学年数に算入しない。

第22条 本学から他の大学へ、若しくは他の大学から本学へ転学を志願する学生で、正当の理由があると認められた場合にはこれを許可することができる。

ただし、その場合は転学許可書と共に、在学年限及び既得単位の証明書によって、転籍事実を明らかにしなければならない。

第22条の2 教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学における学修のため留学することを許可することができる。

2 前項の規定により外国の大学において学修する期間は、1年を限度とする。

3 学生が留学の期間において履修した授業科目について修得した単位を、第7条の2の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

4 外国の高等教育研究機関のうち、大学に相当するものとして認定したものにおいて履修した学生についても、前項の規定を準用して本学における相当する授業科目の履修とみなし、単位を修得したものとすることができる。

5 第1項の許可を得て留学した期間は、第12条に定める在学期間に含める。

6 前項までに定めるもののほか、学生の留学について必要な事項は、別に定める。

第22条の3 休学期間中に他の大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位を、第7条の2の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 休学期間中に行う大学以外の教育施設等における学修を、第7条の3の規定に基づき、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第22条の4 本学3年次に編入学し得る者は、次の各号の一に該当する女子とする。

一 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

二 短期大学を卒業した者

三 高等専門学校を卒業した者

四 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者

五 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

六 高等学校等の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

七 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

第22条の5 転部、転科又は転専攻を希望する者があるときは、受け入れ学部、学科又は専攻に欠員のある場合に限り、別に定める規程により選考の上、これを許可することがある。

第23条 本学を退学した者で、退学後2年以内に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上再入学を許可することがある。

第23条の2 次の各号の一に該当する者は、除籍することができる。

一 第5条第1項及び第3項に定める在学年数を越えた者

二 第19条第3項に定める休学の期間を越えてなお修学できない者

三 授業料及び教育充実費を滞納し、督促してもなお納入しない者

四 長期にわたり行方不明の者

第23条の3 第13条及び第15条から第17条までの規定は、転部・転科・転専攻、編入学及び再入学に準用する。

第6章 賞罰

第24条 次の各号の一に該当する者に対しては、表彰し、又は賞品を授与することがある。

一 学力が特に優秀な者

二 品性高潔であって全学生の模範とするにたる者

三 課外活動等において功績の顕著な者

第25条 学則その他本学が定める規則を守らず本学学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学及び退学とする。

- 3 退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - 二 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
 - 三 正当の理由がなくて出席の常でない者
 - 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
- 4 懲戒の処分の手続きは、別に定める。

第25条の2 停学の期間は、原則として在学年数に算入しない。

第7章 授業料その他の納付金

第26条 授業料その他の納付金の額を次のとおり定める。

一 入学検定料 35,000円（ただし、一般入試B方式（大学入試センター試験を利用する選抜）については、17,000円）

二 入学金 250,000円

三 授業料

家政学部

被服学科 775,000円（2年次 785,000円、3年次 795,000円、4年次 805,000円）

食物学科 775,000円（2年次 785,000円、3年次 795,000円、4年次 805,000円）

児童学科 765,000円（2年次 775,000円、3年次 785,000円、4年次 795,000円）

リハビリ学科 765,000円（2年次 775,000円、3年次 785,000円、4年次 795,000円）

文学部 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円）

社会情報学部 755,000円（2年次 765,000円、3年次 775,000円、4年次 785,000円）

人間関係学部 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円）

比較文化学部 745,000円（2年次 755,000円、3年次 765,000円、4年次 775,000円）

四 教育充実費

家政学部

被服学科 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円）

食物学科 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円）

児童学科 410,000円（2年次 420,000円、3年次 430,000円、4年次 440,000円）

リハビリ学科 410,000円（2年次 420,000円、3年次 430,000円、4年次 440,000円）

文学部 410,000円（2年次 420,000円、3年次 430,000円、4年次 440,000円）

社会情報学部 420,000円（2年次 430,000円、3年次 440,000円、4年次 450,000円）

人間関係学部 410,000円（2年次 420,000円、3年次 430,000円、4年次 440,000円）

比較文化学部 410,000円（2年次 420,000円、3年次 430,000円、4年次 440,000円）

五 実験実習費 実 費

六 その他の納付金については、別に定める。

七 第1号に定める入学検定料については、一般入試において複数の学科・専攻に同時に出願する場合は、次のとおり入学検定料割引を適用することができる。

① A方式において同時に2学科・専攻以上に出願する場合は、2学科・専攻目より1学科・専攻につき20,000円とする。

② B方式（大学入試センター試験を利用する選抜）において同時に2学科・専攻以上に出

願する場合は、2学科・専攻目より1学科・専攻につき10,000円とする。

2 転学、転部・転科・転専攻、編入学及び再入学の場合の授業料その他の納付金の額については、別に定める。

第27条 授業料その他の納付金は、指定された期日までに納入しなければならない。

第28条 休学期間中の授業料は全額免除とし、教育充実費は半額免除とする。ただし、学期の途中で休学又は復学する者は、その期の所定の学費を納入しなければならない。

2 欠席又は停学中の者の授業料及び教育充実費は減免しない。

3 第22条の2の規定により留学を許可された者の留学期間中の授業料は全額免除とする。ただし、本学と外国の大学又は短期大学との交換留学協定（授業料等を相互に不徴収とすることを定めているものに限る。）に基づく交換留学生として、留学を許可された者を除く。

第28条の2 特に必要と認めた場合には、第26条に定める学生納付金を減免することができる。

2 学生納付金の減免に関する規程は別に定める。

第29条 退学又は除籍された者に対しても既納の授業料及び教育充実費は返戻しない。また未納の時は直ちに納入しなければならない（第23条の2第3号に該当するものを除く）。

第30条 削除

第31条 学生の中で、品行方正、学力優秀であって修業中学費支弁の途を失った者に対しては、貸費生として別に定める額を貸与することができる。

第32条 貸費生で卒業した者は、卒業の翌年から毎月貸与額の48分の1を月賦で返済することを要する。

第8章 教職員組織

第33条 本学に学長を置く。学長に事故のあるときはあらかじめ定めた者が代理する。

2 学長は、校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

第33条の2 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

第33条の3 学部に学部長を置く。

2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第34条 本学に教育及び研究のため、教授、准教授、講師、助教、助教（実習担当）及び助手を置く。その定員は別にこれを定める。

第35条 本学に教務事務の処理及び学生福祉等のため一定数の職員を置く。

第9章 教授会

第36条 学部に教授会を置く。

2 教授会は本学専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

第37条 学部の教授会（以下「学部教授会」という。）は、次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学及び卒業

二 学位の授与

三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学部教授会の意見を聴くこ

とが必要なものとして学長が定めるもの

- 2 学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長、学部長の求めに応じ、意見を述べるができるものとする。また、学科、専攻等は、学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学部長の求めに応じ、意見を述べるができるものとする。
- 3 学部教授会は、必要に応じて専門委員会を設け、その権限を委譲することができる。

第9章の2 運営会議

第37条の2 本学に運営会議を置く。

- 2 運営会議は、本学の教育研究に関する重要な事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 3 運営会議に関する事項は、別に定める。

第10章 学生定員及び学級数

第38条 学生定員は次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
一 家政学部			
被服学科	110名	10名	460名
食物学科			
食物学専攻	80名	—	320名
管理栄養士専攻	50名	—	200名
児童学科			
児童学専攻	50名	—	200名
児童教育専攻	60名	5名	250名
ライフデザイン学科	120名	10名	500名
二 文学部			
日本文学科	120名	10名	500名
英文学科	120名	10名	500名
コミュニケーション文化学科	120名	10名	500名
三 社会情報学部			
社会情報学科			
社会生活情報学専攻	100名	10名	420名
環境情報学専攻	100名	10名	420名
情報デザイン専攻	100名	10名	420名
四 人間関係学部			
人間関係学科			
社会学専攻	75名	10名	320名
社会・臨床心理学専攻	75名	10名	320名
人間福祉学科			
人間福祉学専攻	70名	10名	300名
介護福祉学専攻	30名	—	120名
五 比較文化学部			
比較文化学科	165名	15名	690名

- 2 家政学部食物学科食物学専攻の学級数は、1学年2学級、4学年合計8学級とし、家政学部

食物学科管理栄養士専攻、児童学科児童学専攻及び人間関係学部人間福祉学科介護福祉学専攻の学級数は、1学年各1学級、4学年合計各4学級とする。

第11章 附属施設

第39条 本学に次の附属施設を置く。

- 一 総合情報センター
- 二 寄宿舎
- 三 健康センター
- 四 心理相談センター
- 五 学生相談センター
- 六 博物館
- 七 キャリア教育センター
- 八 教職総合支援センター
- 九 国際センター
- 十 地域連携推進センター
- 十一 英語教育研究所

2 前項の附属施設のほか、本学学部に附属の教育研究施設を置くことができる。

3 前二項の各附属施設に関する規程は別に定める。

第12章 科目等履修生、特別聴講学生、委託生及び外国人留学生

第40条 本学所定の授業科目のうち、1科目又は数科目を選んで履修を希望する者があるときは、授業及び研究に支障のない限り選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生には、第11条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

第40条の2 国内外の大学又は短期大学との単位互換協定に基づき、本学の授業科目の一部の履修を希望する者があるときは、特別聴講学生として履修を許可することができる。

2 特別聴講学生には、第11条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

第41条 国内外の公共機関等から、その所属職員について研究事項を定め、研修について委託の願い出があるときは、授業及び研究に支障のない限り選考の上、委託生として研修を許可することができる。

2 委託生に関する規程は別に定める。

第42条 科目等履修生、特別聴講学生及び委託生については、別段の定めのあるものを除くほか、学部学生に関する規定を準用する。

第43条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項の規定により外国人留学生として入学を許可される者は、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定した者で、選考の上入学を許可された者とする。

3 第1項の規定により入学を志願する者に対しては、当該学部において、履歴、人物、健康等

について選考するほか、修学に必要な日本語及び学力について筆記、口述その他適当な方法によって選考を行う。

4 外国人留学生に関する規程は別に定める。

第13章 地域貢献等

第44条 地域貢献等については別に定める。

第14章 学年、学期及び休業

第45条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第46条 学年を分けて、次の二期とする。

前期 4月1日から9月14日まで

後期 9月15日から翌年3月31日まで

2 第1項の規定にかかわらず、必要に応じて前期終了日及び後期開始日を変更することができる。

第47条 学年中の定期休業日を次のとおり定める。

一 学年末休業 3月21日から3月31日まで

二 夏季休業 8月1日から9月14日まで

三 冬季休業 12月22日から翌年1月6日まで

四 学校記念日 11月20日

五 日曜日

六 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

2 前項各号に定める定期休業日でも授業等を課し、又は特別講義を聴講させることがある。

3 第1項の規定にかかわらず、第1号から第3号までの休業期間を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

ただし、学則第4条別表（1）に規定する児童学科の授業科目については、昭和47年4月の入学生から適用する。それ以前の在学生については旧規程による。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。ただし、昭和48年度に管理栄養士専攻に入学した学生の履修方法、単位数については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。ただし、第24条については昭和50年度の入学生から適用する。

附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。ただし、第24条については、昭和51年度の入学生から適用する。

附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。ただし、第24条第1項第1号及び第2号は、昭和53年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、第24条第1項第1号及び第3号は、昭和54年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和54年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第25条第1項第1号及び第3号は、昭和55年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第25条第1項第1号及び第3号は、昭和56年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和56年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和57年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、第7条第2項及び第26条第1項第1号については、昭和58年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和59年度入学者から適用し、同条同項第4号については、昭和59年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第1号については、昭和60年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、第26条第1項第4号については、昭和61年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、この規定の施行の際昭和61年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項に規定する別表(1)一般教育科目(自然分野)及び家政学部食物学科管理栄養士専攻の授業科目に関しては、なお従前の例による。
- 2 第26条第2号については、昭和62年度入学者から適用し、同条第5号については、昭和62年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第26条第2号については、昭和63年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成元年4月27日から施行し4月1日から適用する。ただし、この学則の施行の際、昭和63年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

- 2 第5条第1項及び第7条第1項については、平成元年度入学者から適用する。
- 3 第26条第2号及び第4号については、平成元年度入学者から適用する。ただし、第26条第2号の規定にかかわらず、昭和62年度入学者については、20,600円とし、昭和63年度入学者については41,200円とする。
- 4 第26条第3号については、平成元年3月31日までに入学を許可された者は、なお、従前の例による。
- 5 第26条第5号については、平成元年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成元年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)、別表(2)及び別表(5)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第3号については、平成2年度入学者から適用する。
- 3 第26条第4号の規定にかかわらず昭和62年度入学者に係る教育充実費は20,000円、昭和63年度入学者については40,000円、平成元年度入学者については60,000円とする。又、昭和61年度以前の入学者については徴収しない。

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成2年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第4号については、平成3年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成3年9月24日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、この学則施行の際、平成3年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 2 第26条第2号の規定は、平成3年10月1日から適用する。
- 3 第26条第4号の規定は、平成4年度の入学者から適用する。
- 4 第38条に規定する収容定員は、平成14年度までの間は、次のとおりとする。

社会情報学部

年 度	平成4年度		平成5年度		平成6年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
専攻						
社会生活情報学専攻	100	100	100	200	100	300
社会環境情報学専攻	100	100	100	200	100	300
社会情報処理学専攻	100	100	100	200	100	300
計	300	300	300	600	300	900

平成7年度から 平成11年度まで	平成12年度	平成13年度	平成14年度
---------------------	--------	--------	--------

入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
100	400	60	360	60	320	60	280
100	400	60	360	60	320	60	280
100	400	80	380	80	360	80	340
300	1200	200	1100	200	1000	200	900

附 則（平成4年12月18日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- この規則による改正後の短期大学部学則施行の際、平成4年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1、（1）の2の授業科目及び第7条第1項の表の一般教育科目の履修に関しては、なお、従前の例による。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第4号、大妻女子大学大学院学則第47条第4号及び大妻女子大学短期大学部学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成5年度の入学者から適用する。

附 則（平成6年1月27日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- この規則は、平成6年4月1日から施行する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成5年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第1号に定める入学検定料は、平成6年度志願者から適用する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成6年度の入学者から適用する。

附 則（平成7年2月1日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成6年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成6年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第7条の履修方法及び卒業必要単位数に関しては、なお、従前の例による。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料、教育充実費は、平成7年度の入学者から適用する。

附 則（平成8年2月1日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第1号に定める入学検定料は、平成8年度志願者から適用する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第2号から第4号に定める入学金、授業料及び教育充実費は、平成8年度の入学者から適用する。

附 則（平成8年10月28日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- この規則による改正後の学則は、平成9年4月1日から施行する。
- この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成8年度以前に入学し、現に在学する学生に係る第4条第1項の別表（1）の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成9年度の入学者から適用する。

附 則（平成9年1月30日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

この規則による改正後の学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成9年11月4日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則による改正後の学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の大妻女子大学学則第3条第1項に定める「文学部日本文学科」の名称については、平成10年度の1年次から適用する。
- 3 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成9年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1、別表（1）の2の授業科目については、なお、従前の例による。
- 4 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成10年度の入学者から適用する。

附 則（平成11年1月29日、大妻女子大学学則等の一部を改正する規則）

- 1 この規則による改正後の学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成10年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1及び別表（1）の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 この規則による改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成11年度の入学者から適用する。
- 4 第38条に規定する人間関係学部及び比較文化学部の収容定員は、平成13年度までの間は、次のとおりとする。

人間関係学部

年 度 学科等	平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間関係学科						
社会学専攻	75	75	75	150	75	225
社会心理学専攻	75	75	75	150	75	225
人間福祉学科						
人間福祉学専攻	70	70	70	140	70	210
介護福祉学専攻	30	30	30	60	30	90
計	250	250	250	500	250	750

比較文化学部

年 度 学科等	平成11年度		平成12年度		平成13年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
比較文化学科	150	150	150	300	150	450
計	150	150	150	300	150	450

5 平成4年4月1日施行の学則附則第4項に規定された社会情報学部の期間を付した入学定員については平成10年度末をもって廃止とする。

附 則

- 1 改正後の学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成11年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の1、別表(1)の2、別表(2)の授業科目及び第7条に規定する卒業のための最低履修単位数に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成11年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第9条に定める教員免許状の教科については、なお、従前の例による。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第3号及び第4号に定める授業料及び教育充実費は、平成12年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成12年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の1、別表(1)の2及び別表(2)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第9条に定める教科のうち情報及び福祉については、平成12年度に入学した者が、この学則の施行日以後に当該教科及び教職に係る改正後の別表(1)の2及び別表(2)の授業科目を履修し、当該教員免許状取得に係る所用資格を得ることができる。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第26条第4号に定める教育充実費は、平成13年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第38条に規定する家政学部児童学科児童学専攻及び児童教育専攻の収容定員は、平成14年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
家政学部児童学科						
児童学専攻	50	170	50	180	50	190
児童教育専攻	50	230	50	220	50	210
児童学科 計	100	400	100	400	100	400

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成13年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表(1)の1の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第26条第3項に定める授業料は、平成14年度の入学者から適用する。
- 4 改正後の大妻女子大学学則第38条に規定する家政学部ライフデザイン学科及び文学部コミュニケーション文化学科の収容定員は、平成14年度から平成16年度までの間は、次のとおりとする。

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
-----	--------	--------	--------

学科等	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
家政学部 ライフデザイン学科	100	100	100	200	100	300
文学部 コミュニケーション文化学科	100	100	100	200	100	300

附 則

- この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成14年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の2の授業科目及び第7条第2項に関しては、なお、従前の例による。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成13年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（5）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 改正後の大妻女子大学学則第26条第3号に定める授業料は、平成15年度の入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成15年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条第1項の規定による別表（1）の1及び（1）の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成16年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の2の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成17年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成18年10月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則第7条第1項に定める卒業のための最低履修単位数は平成18年度入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成18年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1及び別表（1）の2の授業科目、第6条、第7条第2項、第10条第2項、第11条第3項及び第12条ただし書きに関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。

- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成19年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第3条第1項に定める「社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻」、「社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻」、「人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻」の名称については、平成21年度の1年次から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成20年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の1、別表（1）の2、別表（2）及び別表（5）の授業科目、第7条第1項並びに第9条に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則施行の際、現に在学中であり、平成23年度以前に卒業する者に係る第8条第10項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成21年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）（但し、「小学校外国語活動の研究」を除く）、別表（2）及び別表（5）の授業科目並びに第7条に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成22年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）及び別表（2）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成23年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）、別表（3）、別表（4）及び別表（5）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部（食物学科及び児童学科児童学専攻を除く。）、文学部、社会情報学部、人間関係学部（人間福祉学科介護福祉学専攻を除く。）及び比較文化学部の学生定員は、平成25年度に限り次のとおりとする。

学科等	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
家政学部			

被服学科		100名	10名	410名
児童学科	児童教育専攻	50名	5名	205名
ライティング学科		100名	10名	410名
文学部				
日本文学科		100名	10名	410名
英文学科		100名	10名	410名
コミュニケーション文化学科		100名	10名	410名
社会情報学部				
社会情報学科	社会生活情報学専攻	100名	10名	410名
	環境情報学専攻	100名	10名	410名
	情報デザイン専攻	100名	10名	410名
人間関係学部				
人間関係学科	社会学専攻	75名	10名	310名
	社会・臨床心理学専攻	75名	10名	310名
人間福祉学科	人間福祉学専攻	70名	10名	290名
比較文化学部				
比較文化学科		150名	15名	615名

附 則

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成24年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の授業科目及び第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成25年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）（但し、全学共通科目の「国際理解科目」を除く）の授業科目及び第7条第1項に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成26年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表（1）の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部食物学科食物学専攻の学生定員は、平成27年度から平成29年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成27年度			平成28年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員

家政学部食物学科 食物学専攻	80名	—	230名	80名	—	260名
-------------------	-----	---	------	-----	---	------

平成29年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	收容定員
80名	—	290名

4 改正後の大妻女子大学学則第38条第2項に規定する家政学部食物学科食物学専攻の学級数の合計は、平成27年度に限り5学級、平成28年度に限り6学級、平成29年度に限り7学級とする。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成26年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成27年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。
- 3 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第3号に定める授業料及び第4号に定める教育充実費は、平成28年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成27年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)及び別表(2)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表(1)の授業科目のうち、「スポーツパフォーマンス論」、「健康スポーツ実技」については、平成27年度の入学者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の大妻女子大学学則第38条第1項に規定する家政学部(食物学科及び児童学科児童学専攻を除く。)、文学部及び比較文化学部の学生定員は、平成29年度から平成31年度までの間は、次のとおりとする。

年 度 学科等	平成29年度			平成30年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	收容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	收容定員

家政学部						
被服学科	110名	10名	430名	110名	10名	440名
児童学科						
児童教育専攻	60名	5名	220名	60名	5名	230名
ライフデザイン学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
文学部						
日本文学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
英文学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
コミュニケーション文化学科	120名	10名	440名	120名	10名	460名
比較文化学部						
比較文化学科	165名	15名	645名	165名	15名	660名

平成31年度		
入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
110名	10名	450名
60名	5名	240名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
120名	10名	480名
165名	15名	675名

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則第26条第1項第2号に定める入学金、第3号に定める授業料及び第4号に定める教育充実費は、平成29年度の入学者から適用する。

附 則

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 改正後の大妻女子大学学則施行の際、平成28年度以前に入学し、現に在学中の者に係る第4条の規定による別表(1)の授業科目に関しては、なお、従前の例による。但し、改正後の大妻女子大学学則第4条の規定による別表(1)の授業科目のうち、「運動障害と予防・救急処置(含実習)」、「健康運動実践指導論」、「体力測定と評価」については、平成27年度の入学者から適用する。

別表（１）

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考	
		必修	選択		
〔全学共通科目〕					
補習科目					
数 学	講義		1		
化学	講義		1		
生物	講義		1		
基礎科目					
（女性とキャンパスライフ）					
大妻教養講座	講義	1			
キャンパスライフとメンタルヘルス	講義		2		
女性と健康	講義		2		
ジェンダーと社会生活	講義		2		
女性史	講義		2		
（リテラシー）					
日本語 A（文章表現）	講義		2	英文学科、コミュニケーション文化学科のみ必修	
日本語 B（口頭表現）	講義		2		
日本語 C（読解）	講義		2		
コンピューター基礎 A	演習		2		
コンピューター基礎 B	演習		2		
コンピューター応用	演習		2		
（キャリア）					
キャリアデザイン I	講義		2		
キャリアデザイン II	講義		2		
キャリアデザイン III	講義		2		
キャリア・ディベロップメント・プログラム I	演習		2		
キャリア・ディベロップメント・プログラム II	演習		2		
教養科目					
（人間と文化）					
文学の世界	講義		2		
音楽の世界	講義		2		
美術の世界	講義		2		
映像・演劇の世界	講義		2		
考古学の世界	講義		2		
ポピュラー・カルチャーの世界	講義		2		
地域と文化	講義		2		
言語と文化	講義		2		
日本の歴史と文化	講義		2		
世界の歴史と文化	講義		2		
哲学と思想	講義		2		
日本文化・事情	講義		2	外国人留学生優先	
（社会と生活）					
子どもの世界	講義		2		
人間の成長と心理	講義		2		
日本国憲法	講義		2		

法律と現代社会	講義	2	
政治と現代社会	講義	2	
経済と現代社会	講義	2	
メディアと現代社会	講義	2	
家族と現代社会	講義	2	
福祉と現代社会(ボランティアを含む)	講義	2	
(自然と科学)			
数学の世界	講義	2	
生活の生物	講義	2	
生活の化学	講義	2	
科学の環境	講義	2	
生命の科	講義	2	
宇宙の学	講義	2	
人類の進	講義	2	
自然科の歴史	講義	2	
(スポーツ)			
スポーツA	実技	1	
スポーツB	実技	1	
スポーツC	実技	1	
スポーツD	実技	1	
シーズン・スポーツ	実技	1	
スポーツと健康	講義	2	
レクリエーション論	講義	2	
レクリエーション実技	実技	1	
外国語科目			
英語 I A	演習	1	
英語 I B	演習	1	
英語 I C	演習	1	英文学科・コミュニケーション文化学科・社会情報学部・人間関係学部・比較文化学部のみ必修
英語 I D	演習	1	
英語 II A	演習	1	英文学科・コミュニケーション文化学科・社会情報学部・比較文化学部のみ必修
英語 II B	演習	1	
英語 II C	演習	1	英文学科・社会情報学部・比較文化学部のみ必修
英語 II D	演習	1	
英語 III A	演習	1	社会情報学部・比較文化学部のみ必修
英語 III B	演習	1	
フランス語 I	演習	1	
フランス語 II	演習	1	
フランス語 III	演習	1	
フランス語 IV	演習	1	
ドイツ語 I	演習	1	
ドイツ語 II	演習	1	
ドイツ語 III	演習	1	
ドイツ語 IV	演習	1	
スペイン語 I	演習	1	
スペイン語 II	演習	1	
スペイン語 III	演習	1	
スペイン語 IV	演習	1	
ロシア語 I	演習	1	

ロ	シ	ア	語	II	演習	1	
ロ	シ	ア	語	III	演習	1	
ロ	シ	ア	語	IV	演習	1	
中		国	語	I	演習	1	
中		国	語	II	演習	1	
中		国	語	III	演習	1	
中		国	語	IV	演習	1	
韓		国	語	I	演習	1	
韓		国	語	II	演習	1	
韓		国	語	III	演習	1	
韓		国	語	IV	演習	1	
日	本		語	I	演習	1	外国人留学生対象
日	本		語	II	演習	1	外国人留学生対象
日	本		語	III	演習	1	外国人留学生対象
日	本		語	IV	演習	1	外国人留学生対象
国際理解科目							
国	際	理	解	(海外研修)	I	演習	2
国	際	理	解	(海外研修)	II	演習	2
国	際	理	解	(海外研修)	III	演習	2
国	際	理	解	(海外研修)	IV	演習	1
国	際	理	解	(海外研修)	V	演習	1
家政学部							
被服学科							
〔専門教育科目〕							
共通専門科目							
家庭経営学概論(含家庭経済学)					講義	2	
家	族	関	係	論	講義	2	
住	居	学	概	論	講義	2	
食	物	学	概	論	講義	2	
児	童	学	概	論	講義	2	
環	境	科	学	概	論	講義	2
生	理	学			講義	2	
ラ	イ	フ	デ	ザ	イ	ン	学
							概
							論
繊維素材領域							
織	維	科	学		講義	2	
被	服	材	料	学	講義	2	
被	服	材	料	学	実験	2	
衣	生	活	と	化	学	講義	2
機	能	性	被	服	材	料	学
被	服	管	理	学	講義	2	
染	色	学			講義	2	
界	面	科	学		実験	2	
織	維	加	工	学	講義	2	
イ	ン	テ	リ	ア	材	料	学
織	維	科	学	実	験	2	

テキスタイル分析	実験		2
デザイン・制作領域			
色彩学	講義	2	
和服製作 I	実習	2	
アパレル製作 I	実習	2	
基礎デザイン	講義	2	
服飾美学	講義		2
和服製作 II	実習		2
和服製作 III	実習		2
アパレル製作 II	実習		2
ファッションデザイン	演習		2
立体裁断 I	実習		2
立体裁断 II	実習		2
コンピュータグラフィックス	演習		2
インテリアデザイン	演習		2
アパレル生産領域			
アパレル概論	講義	2	
被服体型学	講義	2	
衣環境学	講義		2
服飾工学	実習		2
被服心理学	講義		2
パターン設計	演習		2
繊維製品消費科学	講義		2
アパレルCAD	演習		2
工芸染色	実習		2
アパレル設計・生産 I	講義		2
アパレル設計・生産 II	実習		2
衣裳ディスプレイ	実習		2
ファッションビジネス領域			
日本服飾文化史	講義	2	
西洋服飾文化史	講義	2	
衣生活文化論	講義	2	
ファッションビジネス	講義		2
ファッション統計学	講義		2
ファッションマーケティング	講義		2
アパレル企画	演習		2
消費生活論	講義		2
ファッションリテリング	講義		2
ファッションマネジメント	講義		2
ファッション広告論	講義		2
品質管理	講義		2
消費者調査法	講義		2
共通			

ゼミナール I	演習	2	
ゼミナール II	演習	2	
卒業研究	—	6	
ケーススタディ	講義		2
テキストアドバイザー実習	実習		1
〔教科に関する専門教育科目〕			
食品学概論	講義		2
栄養学概論	講義		2
保育学（含実習及び家庭看護）	講義		2
調理学実習	講義・実習		2
家庭機械及び家庭電気	講義		2
製図及び家庭工作学	講義		2
生活情報処理	講義		2
〔自由科目〕			
（社会体験実習）			
企業等体験実習	—		1又は2
食物学科			
食物学専攻			
〔専門教育科目〕			
共通専門科目			
家庭経営学概論（含家庭経済学）	講義		2
家族関係論	講義		2
住居学概論	講義		2
被服学概論	講義		2
児童学概論	講義		2
環境科学概論	講義		2
ライフデザイン学概論	講義		2
社会生活と健康			
社会福祉論	講義	2	
公衆衛生学	講義	2	
生活環境学実験	実験	1	
人体の構造と機能			
疾病の成り立ち I	講義	2	
生化学	講義	2	
生理解学	講義	2	
人体構造機能論	講義	2	
人体構造機能論実験	実験	1	
食品と衛生			
食品化学	講義	2	
食品化学実験	実験	1	
食品学	講義	2	
食品学実験	実験	1	

食 安 全 学 I	講義	2		
食 安 全 学 実 験	実 験	1		
栄 養 と 健 康				
基 礎 栄 養 学 I	講義	2		
基 礎 栄 養 学 II	講義	2		
栄 養 化 学 I	講義	2		
栄 養 化 学 実 験	実 験	1		
応 用 栄 養 学	講義	2		
応 用 栄 養 学 実 習	実 習	1		
病 態 栄 養 学	講義	2		
臨 床 栄 養 学	講義		2	
臨 床 栄 養 学 実 習	実 習		1	
栄 養 の 指 導				
食 事 設 計 論	講義	2		
食 事 設 計 論 実 習	実 習	1		
栄 養 教 育 論 I	講義	2		
栄 養 教 育 論 II	講義	2		
栄 養 教 育 論 実 習 I	実 習	1		
栄 養 教 育 論 実 習 II	実 習		1	
公 衆 栄 養 学	講義	2		
給 食 の 運 営				
給 食 管 理 論 I	講義	2		
給 食 管 理 論 II	講義	2		
給 食 管 理 実 習 I	実 習	1		
給 食 管 理 実 習 II	実 習		1	
調 理 科 学 I	講義	2		
基 礎 調 理 学 実 習	実 習	1		
調 理 学 実 習	実 習	1		
校 外 実 習 指 導	演 習		1	
校 外 実 習	実 習		1	
栄 養 学 概 論	講義	2		
食 物 学 概 演 習	演 習	2		
卒 業 論 文 I	—	2		
卒 業 論 文 II	—	2		
基 礎 生 物 学	講義		2	
化 学	講義		2	
化 学	講義		2	
実 践 統 計 学	演 習		2	
食 品 素 材 学 論	講義		2	
消 費 科 学	講義		2	
食 品 感 覚 機 能 論	講義		2	
食 品 流 通 論	講義		2	
ス ポ ー ツ 栄 養 論	講義		2	

運動障害と予防・救急処置（含実習）	講義・実習	2
スポーツパフォーマンス論	講義	2
健康運動実践指導論	講義・実習	1
体力測定と評価	講義・実習	1
健康スポーツ実技	実技	1
疾病の成り立ちⅡ	講義	2
栄養化学Ⅱ	講義	2
食品微生物学	講義	2
食品微生物学実験	実験	1
食文化論	講義	2
食安全学Ⅱ	講義	2
栄養・健康情報論	講義	2
食品バイオテクノロジー	講義	2
インターンシップ	実習	1
調理科学Ⅱ	講義	2
調理科学実験	実験	1
食品開発論	講義	2
応用調理学実習	実習	1
学校栄養教諭論	講義	2
フードスペシャリスト論	講義	2
フードコーディネーター論	講義	2
〔教科に関する専門教育科目〕		
保育学（含実習及び家庭看護）	講義	2
被服材料学	講義	2
被服工作（和）（洋）	実習	2
製図及び家庭工作学	講義	2
家庭機械及び家庭電気	講義	2
生活情報処理	講義	2
〔自由科目〕		
（社会体験実習）		
企業等体験実習	—	1又は2
食物学科		
管理栄養士専攻		
〔専門教育科目〕		
共通専門科目		
家庭経営学概論（含家庭経済学）	講義	2
家族関係論	講義	2
住居学概論	講義	2
被服学概論	講義	2
児童学概論	講義	2
環境科学概論	講義	2
ライフデザイン学概論	講義	2

社会・環境と健康							
公衆衛生学	I	講義	2				
公衆衛生学	II	講義	2				
実践統計学		講義	2				
社会福祉論		講義	2				
生活環境実験		実験	1				
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち							
生化学	I	講義	2				
生化学	II	講義	2				
生化学実験		実験	1				
栄養生化学		講義	2				
生理解学		講義	2				
人体構造機能論		講義	2				
人体構造機能論実験		実験	1				
疾病の成り立ち	I	講義	2				
疾病の成り立ち	II	講義	2				
栄養代謝実習		実習	1				
食べ物と健康							
食品学		講義	2				
食品学実験		実験	1				
食品化学		講義	2				
食品化学実験		実験	1				
食安全学		講義	2				
食安全学実験		実験	1				
調理科学		講義	2				
基礎調理学実習	I	実習	1				
基礎調理学実習	II	実習	1				
食事設計論実習		実習	1				
基礎栄養学							
基礎栄養学	I	講義	2				
基礎栄養学	II	講義	2				
栄養学実験		実験	1				
応用栄養学							
ライフステージ栄養学		講義	2				
ライフステージ栄養学実習		実習	1				
応用栄養科学		講義	2				
食事摂取基準論		講義	2				
栄養教育論							
栄養教育論	I	講義	2				
栄養教育論	II	講義	2				
栄養教育論実習	I	実習	1				
栄養教育論実習	II	実習	1				
カウンセリング論		講義	2				

臨床營養學								
病態營養學 I	講義	2						
病態營養學 II	講義	2						
臨床營養學 I	講義	2						
臨床營養學 II	講義	2						
臨床營養學實習 I	實習	1						
臨床營養學實習 II	實習	1						
臨床營養指導論	講義	2						
公眾營養學								
公眾營養學 I	講義	2						
公眾營養學 II	講義	2						
公眾營養學實習	實習	1						
給食經營管理論								
給食經營管理論 I	講義	2						
給食經營管理論 II	講義	2						
給食經營管理實習 I	實習	1						
給食經營管理實習 II	實習	1						
綜合演習								
臨地實習指導	演習		2					
管理營養士概論 I	講義	2						
管理營養士概論 II	講義	2						
管理營養士綜合演習	演習		2					
臨地實習								
臨地實習 I	實習		1					
臨地實習 II	實習		3					
管理營養士演習	演習	2						
食物學演習	演習	2						
營養・健康情報論	講義		2					
機能性食品學	講義		2					
調理科學實驗	實驗		1					
食品微生物學	講義		2					
食品微生物學實驗	實驗		1					
食文化論	講義		2					
食品感覺機能論	講義		2					
化學 I	講義		2					
化學 II	講義		2					
基礎生物學	講義		2					
學校營養教諭論 I	講義		2					
學校營養教諭論 II	講義		2					
卒業研究	—		2					
卒業論文 I	—		2					
卒業論文 II	—		2					
〔自由科目〕								

(社会体験実習)			
企業等体験実習	—		1又は2
児童学科			
児童学専攻			
[専門教育科目]			
共通専門科目			
家庭経営学概論(含家庭経済学)	講義		2
家族関係論	講義		2
住居学概論	講義		2
被服学概論	講義		2
食物学概論	講義		2
環境科学概論	講義		2
生理心理学	講義		2
ライフデザイン学概論	講義		2
児童心理学			
発達心理学 I	講義	2	
発達心理学 II	演習		2
発達障害論	講義		2
生涯発達学	講義		2
家庭支援論	講義		2
児童保健学			
子どもの保健 I	講義		2
子どもの保健 II	演習		2
子どもの食と栄養	演習		2
児童教育学			
児童学入門リレー講座	講義	2	
保育原理	講義		2
保育臨床論	演習		2
乳児保育	演習		2
乳児保育方法論	講義		2
学童保育	演習		2
障がい児保育	演習		2
保育実習 I	実習		4
保育実習 II	実習		2
保育実習 III	実習		2
保育実習指導 I	演習		2
保育実習指導 II	演習		2
保育実習指導 III	演習		2
保育福祉施設演習 I	演習		2
保育福祉施設演習 II	演習		2
教育の原理	講義	2	
社会的養護論	講義		2

社会的養護内容	演習		2
保育者	講義		2
保育課程論	講義		2
幼児体	演習		2
国語科	講義		2
算数科	講義		2
生活科	講義		2
教育経営論	講義		2
子どもとからだ	演習		2
子どもと遊び	演習		2
子どもと科学する心	演習		2
子どもとアート	演習		2
子どもと絵本	演習		2
児童文化学			
児童文化論	講義	2	
子ども N P O	講義		2
児童福祉学			
社会福祉学	講義		2
子ども家庭福祉論	講義	2	
相談援助	演習		2
保育相談支援	演習		2
子どもと貧困	講義		2
教育心理学	講義	2	
児童学研究法Ⅰ(概論)	講義	2	
児童学研究法Ⅱ(実験法・検査法)	講義		2
児童学研究法Ⅲ(調査法・統計法)	講義		2
児童学研究法Ⅳ(観察法・フィールドワーク)	講義		2
造形教育論	講義		2
児童学専門演習Ⅰ	演習	2	
児童学専門演習Ⅱ	演習	2	
卒業研究ゼミナールⅠ	演習	2	
卒業研究ゼミナールⅡ	演習	2	
児童学ワークショップ	講義		2
卒業研究	-	6	
造形表現Ⅰ	演習		2
造形表現Ⅱ	演習		2
音楽表現Ⅰ	演習		2
音楽表現Ⅱ	演習		2
子育て支援演習	演習		2
児童学基礎体験演習Ⅰ	演習	2	
児童学基礎体験演習Ⅱ	演習	2	
保育方法演習	演習		2
保育カンファレンス演習	演習		2

病 児 ・ 病 後 児 保 育	講 義	2	
保 育 実 習 (ア ド バ ン ス)	実 習	2	
保 育 実 習 指 導 (ア ド バ ン ス)	演 習	2	
幼 稚 園 実 習 (ア ド バ ン ス)	実 習	2	
幼 稚 園 実 習 特 講 (ア ド バ ン ス)	演 習	2	
〔教職に関する専門教育科目〕			
保 育 内 容 研 究 I (幼 児 と 健 康)	演 習	2	
保 育 内 容 研 究 II (幼 児 と 人 間 関 係)	演 習	2	
保 育 内 容 研 究 III (幼 児 と 環 境)	演 習	2	
保 育 内 容 研 究 IV (幼 児 と こ と ば)	演 習	2	
保 育 内 容 研 究 V (幼 児 と 表 現)	演 習	2	
保 育 内 容 総 論	演 習	2	
教 育 実 習 (幼 稚 園 I)	実 習	2	
教 育 実 習 (幼 稚 園 II)	実 習	2	
幼 稚 園 実 習 特 講	講 義	1	
教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	演 習	2	
〔自由科目〕			
(社 会 体 験 実 習)			
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2	
児 童 学 科			
児 童 教 育 専 攻			
〔専門教育科目〕			
共 通 専 門 科 目			
家 庭 経 営 学 概 論 (含 家 庭 経 済 学)	講 義	2	
家 族 関 係 論	講 義	2	
住 居 学 概 論	講 義	2	
被 服 学 概 論	講 義	2	
食 物 学 概 論	講 義	2	
環 境 科 学 概 論	講 義	2	
生 理 学	講 義	2	
ラ イ フ デ ザ イ ン 学 概 論	講 義	2	
児 童 心 理 学			
教 育 心 理 学	講 義	2	
発 達 心 理 学 I	講 義	2	
発 達 障 害 論	講 義	2	
生 涯 発 達 学	講 義	2	
家 庭 支 援 論	講 義	2	
特 別 支 援 教 育	講 義	2	
児 童 教 育 学			
児 童 学 入 門 リ レ ー 講 座	講 義	2	
学 童 保 育	演 習	2	
教 育 原 理	講 義	2	

道徳教育の研究	講義	2	
特別活動の研究	講義	2	
保育原理	講義	2	
保育臨床論	演習	2	
教師論	講義	2	
保育者論	講義	2	
保育課程論	講義	2	
教育課程論	講義	2	
教育相談	講義	2	
生徒・進路指導の理論及び方法	講義	2	
体育科教育論	演習	2	
教育方法論	演習	2	
子どもとからだ	演習	2	
子どもと遊び	演習	2	
子どもと科学する心	演習	2	
子どもとアート	演習	2	
子どもと絵本	演習	2	
児童文化学			
児童文化論	講義	2	
子ども N P O	講義	2	
児童福祉学			
社会福祉学	講義	2	
子ども家庭福祉論	講義	2	
子どもと貧困	講義	2	
児童学研究法Ⅰ（概論）	講義	2	
児童学研究法Ⅱ（実験法・検査法）	講義	2	
児童学研究法Ⅲ（調査法・統計法）	講義	2	
児童学研究法Ⅳ（観察法・フィールドワーク）	講義	2	
造形教育論	講義	2	
教育経営論	講義	2	
児童学専門演習Ⅰ	演習	2	
児童学専門演習Ⅱ	演習	2	
卒業研究ゼミナールⅠ	演習	2	
卒業研究ゼミナールⅡ	演習	2	
児童学ワークショップ	講義	2	
卒業研究	—	6	
国語科教育	講義	2	
社会科教育	講義	2	
算数科教育	講義	2	
理科教育	講義	2	
生活科教育	講義	2	
家庭科教育	講義	2	
児童音楽	演習	2	

児童音楽 II	演習		2
造形表現と指導	講義		2
小学校外国語活動の研究	講義		2
児童学基礎体験演習 I	演習	2	
児童学基礎体験演習 II	演習	2	
小学校総合演習 I	演習		2
小学校総合演習 II	演習		2
子育て支援演習	演習		2
保育方法演習	演習		2
保育カンファレンス演習	演習		2
保育実習（アドバンス）	実習		2
保育実習指導（アドバンス）	演習		2
幼稚園実習（アドバンス）	実習		2
幼稚園実習特講（アドバンス）	演習		2
〔教職に関する専門教育科目〕			
国語科教材研究（書写を含む）	講義		2
社会科教材研究	講義		2
算数科教材研究	講義		2
理科教材研究	講義		2
生活科教材研究	講義		2
音楽科教材研究	講義		2
図工科教材研究	講義		2
体育科教材研究	講義		2
家庭科教材研究	講義		2
保育内容研究 I（幼児と健康）	演習		2
保育内容研究 II（幼児と人間関係）	演習		2
保育内容研究 III（幼児と環境）	演習		2
保育内容研究 IV（幼児とことば）	演習		2
保育内容研究 V（幼児と表現）	演習		2
保育内容総論	演習		2
教育実習（幼稚園 I）	実習		2
教育実習（幼稚園 II）	実習		2
教育実習（小学校）	実習		4
特別教育実習（小学校）	実習		4
幼稚園実習特講	講義		1
小学校実習特講	講義		1
教職実践演習（幼・小）	演習		2
〔自由科目〕			
（社会体験実習）			
企業等体験実習	—		1又は2
ライフデザイン学科			
〔専門教育科目〕			

共通専門科目				
住居学概論	講義		2	
被服学概論	講義		2	
食物学概論	講義		2	
児童学概論	講義		2	
学生心理学	講義		2	
ライフデザイン学総論	講義	2		
生活経営学	講義		2	
家族社会学	講義		2	
学生生活史	講義		2	
ライフデザイン基礎演習Ⅰ（思考・表現力）	演習	2		
ライフデザイン基礎演習Ⅱ（日本語力）	演習	2		
生命論	講義		2	
日常生活と環境	講義	2		
生活環境と健康	講義		2	
ヒトと生態系	講義		2	
生物環境学演習	演習		2	
プロダクトデザイン演習	演習		2	
グラフィックデザイン演習	演習		2	
NPO・市民参加論	講義		2	
自然体験論Ⅰ	講義		1	
自然体験論Ⅱ	講義		1	
家族心理学	講義		2	
ライフデザイン演習Ⅰ（量的調査法）	演習	2		
ライフデザイン演習Ⅱ（質的調査法）	演習	2		
ライフデザイン演習Ⅲ（編集・プレゼンテーション）	演習	2		
生涯発達心理学	講義	2		
コミュニティと福祉	講義		2	
エコロジカルライフ演習	演習		2	
工芸デザイン演習	演習		2	
生活と工芸	講義		2	
感性教育A（言語表現）	実習		1	
感性教育B（造形表現）	実習		1	
感性教育C（身体表現）	実習		1	
都市と公園	講義		2	
家族法	講義		2	
市民生活と法	講義	2		
生活情報論	講義	2		
情報デザイン演習	演習		2	
情報とコミュニケーション	講義		2	
エコロジカルライフ論	講義		2	
暮らしと政治	講義		2	
情報社会論	講義		2	

暮らしとメディア	講義		2
生活のリスクマネジメント	講義		2
消費者と法	講義		2
青少年と法	講義		2
社会老年学	講義		2
暮らしとファイナンス	講義		2
暮らしと社会保障	講義	2	
居住文化論	講義	2	
住空間デザイン論	講義		2
インテリアデザイン演習Ⅰ	演習		2
インテリアデザイン演習Ⅱ	演習		2
生活と色彩	講義		2
インテリアデザイン論	講義		2
現代デザイン論	講義		2
グリーンツーリズム体験実習	実習		1
地域社会と環境	講義		2
生活と映像	講義		2
環境教育・思想論	講義		2
消費生活論	講義		2
家族の民族誌	講義		2
社会生活と心の健康	講義		2
農業体験学習	講義		2
スローライフ論	講義		2
余暇生活論	講義		2
ゼミナールⅠ-A	演習	1	
ゼミナールⅠ-B	演習	1	
ゼミナールⅡ-A	演習	1	
ゼミナールⅡ-B	演習	1	
卒業論文・卒業制作	—		6
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	—		1又は2
文学部			
日本文学科			
〔専門教育科目〕			
日本語学			
日本語学概説	講義	2	
日本語学講義	講義		2
日本語学演習Ⅰ	演習		2
日本語学演習Ⅱ	演習		2
日本文学			
日本古典文学入門	講義	2	

変	体	仮	名	読	解	演	2		
上	代	文	学	概	説	講	2		
中	古	文	学	概	説	講	2		
中	世	文	学	概	説	講	2		
近	代	文	学	概	説	講	2		
現	代	文	学	講	義	講	2	2	
上	古	文	学	講	義	講		2	
中	世	文	学	講	義	講		2	
中	代	文	学	講	義	講		2	
近	代	文	学	講	義	講		2	
近	代	文	学	演	習	演		2	
現	代	文	学	演	習	演		2	
上	代	文	学	演	習	演		2	
上	代	文	学	演	習	演		2	
中	古	文	学	演	習	演		2	
中	古	文	学	演	習	演		2	
中	世	文	学	演	習	演		2	
中	世	文	学	演	習	演		2	
近	世	文	学	演	習	演		2	
近	世	文	学	演	習	演		2	
近	代	文	学	演	習	演		2	
近	代	文	学	演	習	演		2	
現	代	文	学	演	習	演		2	
現	代	文	学	演	習	演		2	
漢	文	学							
漢	文	学	学	入	門	講	2		
漢	文	学	学	概	説	講	2		
漢	文	学	学	講	義	講		2	
漢	文	学	学	演	習	演		2	
漢	文	学	学	演	習	演		2	
語	学	文	学	講	読	講	2		
語	学	文	学	講	読	講	2		
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	I	演	2		
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	II	演	2		
卒	業	論	文	ゼ	I	演	2		
卒	業	論	文	ゼ	II	演	2		
卒	業	論	文	ゼ	III	演	2		
卒	業	論	文	ゼ	IV	演	2		
卒	業	論	文	ゼ		一	6		
書	誌	・	・	出	版	講	2		
創	作	・	・	研	究	講		2	
語	学	文	学	特	別	講			2

語学・文学特別演習	演習	2
研究の方法（古典・漢文）	講義	2
研究の方法（近現代・メディア）	講義	2
研究の方法（日本語）	講義	2
メディアア文化論	講義	2
メディアア文化演習Ⅰ	演習	2
メディアア文化演習Ⅱ	演習	2
比較文学	講義	2
ジェンダーと文学	講義	2
伝承と文学	講義	2
日本の思想 A	講義	2
日本の思想 B	講義	2
日本の美術	講義	2
日本の芸能と文化	講義	2
日本の映像メディア	講義	2
日本の歴史と社会	講義	2
日本の歴史と文化	講義	2
文学部共通科目		
人間/文化を知る		
文学・文化の理論	講義	2
児童文学	講義	2
イギリスの階級と伝統	講義	2
アメリカの文化と思想	講義	2
ジェンダー文化論	講義	2
文字文化論	講義	2
地域を知る		
江戸・東京の文化	講義	2
日本文化とアジア	講義	2
イギリス的風景	講義	2
アメリカの風土と歴史	講義	2
イスラム文化	講義	2
言葉を知る		
日本語の歴史	講義	2
日本語と社会	講義	2
英語と日本語	講義	2
ことばの仕組みと働き	講義	2
ドイツ語研究	講義	2
フランス語研究	講義	2
スペイン語研究	講義	2
中国語研究	講義	2
韓国語研究	講義	2
メディアを知る		
放送文化論	講義	2

出版文化論	講義	2	
広告論	講義	2	
世界を知る			
諸外国との国際交流 A (アジア圏)	—	2	
諸外国との国際交流 B (欧米圏)	—	2	
〔教科に関する専門教育科目〕			
書法総合演習 I	演習	2	
書法総合演習 II	演習	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	—	1又は2	
英文学科			
〔専門教育科目〕			
英語学			
英語学入門 1	講義	2	
英語学入門 2	講義	2	
英語発音入門	演習	2	
英語音声学演習	演習	2	
英語学 (音声・音韻)	演習	2	
英語学 (語彙・形態)	演習	2	
英語学 (語法・文法)	演習	2	
英語学 (意味・語用)	演習	2	
英語学 (特論)	演習	2	
英文法 (基礎) 1	演習	2	
英文法 (基礎) 2	演習	2	
英文法 (発展) 1	演習	2	
英文法 (発展) 2	演習	2	
英文学			
英文学入門 1	講義	2	
英文学入門 2	講義	2	
米文学入門 1	講義	2	
米文学入門 2	講義	2	
英文学 (近代)	演習	2	
英文学 (現代)	演習	2	
英文学 (特論)	演習	2	
米文学 (近代)	演習	2	
米文学 (現代)	演習	2	
米文学 (特論)	演習	2	
異文化間コミュニケーション 1	演習	2	
異文化間コミュニケーション 2	演習	2	

基礎	セミナー	1	演習	2	
基礎	セミナー	2	演習	2	
イギリス	入門		講義	2	
アメリカ	入門		講義	2	
英米文化	(言語)		演習		2
英米文化	(社会)		演習		2
英米文化	(映像・身体表現)		演習		2
英米文化	(特論)		演習		2
I	SE	C	演習		2
セミナー	1		演習	2	
セミナー	2		演習	2	
セミナー	3		演習	2	
セミナー	4		演習	2	
資格	英語		演習		2
Extensive Reading	(Basic)		演習		2
Extensive Reading	(Advanced)		演習		2
Speaking	(Basic) A		演習		2
Speaking	(Basic) B		演習		2
Speaking	(Intermediate) A		演習		2
Speaking	(Intermediate) B		演習		2
Speaking	(Advanced)		演習		2
英文講読	(基礎) 1		演習	2	
英文講読	(基礎) 2		演習	2	
英文講読	(発展) 1		演習	2	
英文講読	(発展) 2		演習	2	
英語教育学	(第二言語習得論)		演習		2
英語教育学	(児童英語教育1)		演習		2
英語教育学	(児童英語教育2)		演習		2
英語教育学	(メディア論)		演習		2
上級	英語 A		演習		2
上級	英語 B		演習		2
Academic English	1 A		演習		2
Academic English	1 B		演習		2
Academic English	2 A		演習		2
Academic English	2 B		演習		2
Special Topics	through English		演習		2
海外	ボランティア		—		2
卒業	論文		—	6	
文学部共通科目					
人間/文化を知る					
文学	・文化の理論		講義		2
児童	文学		講義		2
イギリス	の階級と伝統		講義		2

アメリカの文化と思想	講義	2	
ジェンダー文化論	講義	2	
文字文化論	講義	2	
地域を知る			
江戸・東京の文化	講義	2	
日本文化とアジア	講義	2	
イギリス的風景	講義	2	
アメリカの風土と歴史	講義	2	
イスラム文化	講義	2	
言葉を知る			
日本語の歴史	講義	2	
日本語と社会	講義	2	
英語と日本語	講義	2	
ことばの仕組みと働き	講義	2	
ドイツ語研究	講義	2	
フランス語研究	講義	2	
スペイン語研究	講義	2	
中国語研究	講義	2	
韓国語研究	講義	2	
メディアを知る			
放送文化論	講義	2	
出版文化論	講義	2	
広告論	講義	2	
世界を知る			
諸外国との国際交流 A (アジア圏)	—	2	
諸外国との国際交流 B (欧米圏)	—	2	
[自由科目]			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	—	1又は2	
コミュニケーション文化学科			
[専門教育科目]			
言語			
日本語口頭表現法	演習	2	
コミュニケーション英語 A (スピーキング)	演習	2	
コミュニケーション英語 B (リーディング・アンド・ディスカッション)	演習	2	
コミュニケーション英語 C (リスニング・アンド・プレゼンテーション)	演習	2	
コミュニケーション英語 D (ライティング・スキルズ)	演習	2	

コミュニケーション中国語 I	演習	2	
コミュニケーション中国語 II	演習	2	
コミュニケーション中国語 III	演習	2	
コミュニケーション中国語 IV	演習	2	
通訳演習 (英)	演習	2	
通訳演習 (中)	演習	2	
現代英語	演習	2	
現代中国語	演習	2	
時事英語	演習	2	
時事中国語	演習	2	
ゼミナール			
1 年 次 ゼ ミ I	演習	2	
1 年 次 ゼ ミ II	演習	2	
2 年 次 ゼ ミ I	演習	2	
2 年 次 ゼ ミ II	演習	2	
卒業研究 ゼ ミ I	演習	2	
卒業研究 ゼ ミ II	演習	2	
卒業研究 ゼ ミ III	演習	2	
卒業研究 ゼ ミ IV	演習	2	
卒業論文	—	6	
基礎講義			
コミュニケーション文化概論	講義	2	
現代国際地域事情	講義	2	
社会言語学	講義	2	
言語心理学	講義	2	
社会心理学	講義	2	
異文化コミュニケーション I	講義	2	
異文化コミュニケーション II	講義	2	
異文化コミュニケーション論	講義	2	
言語文化論	講義	2	
国際関係論	講義	2	
メディア・コミュニケーション I	講義	2	
メディア・コミュニケーション II	講義	2	
社会・言語コミュニケーション I	講義	2	
社会・言語コミュニケーション II	講義	2	
専門講義・演習			
映像文化演習	演習	2	
欧米文化演習	演習	2	
中国文化演習	演習	2	
韓国・朝鮮文化演習	演習	2	
言語文化演習	演習	2	
異文化コミュニケーション演習	演習	2	
社会調査演習	演習	2	

コンピュータ・リテラシー	演習	2
アナウンス演習	演習	2
インタビュー演習	演習	2
コミュニケーション文化特殊研究	演習	2
ビジネス・ライティング（英）	演習	2
ビジネス・ライティング（中）	演習	2
テクニカル・ライティング	演習	2
欧米文化論	講義	2
民族文化論	講義	2
国際コミュニケーション論	講義	2
国際ジャーナリズム論	講義	2
国際教育論	講義	2
国際メディア論 A（欧米）	講義	2
国際メディア論 B（アジア）	講義	2
メディア・コミュニケーション論	講義	2
現代正義論	講義	2
文学部共通科目		
人間/文化を知る		
文学・文化の理論	講義	2
児童文学	講義	2
イギリスの階級と伝統	講義	2
アメリカの文化と思想	講義	2
ジェンダー文化論	講義	2
文字文化論	講義	2
地域を知る		
江戸・東京の文化	講義	2
日本文化とアジア	講義	2
イギリス的風景	講義	2
アメリカの風土と歴史	講義	2
イスラム文化	講義	2
言葉を知る		
日本語の歴史	講義	2
日本語と社会	講義	2
英語と日本語	講義	2
ことばの仕組みと働き	講義	2
ドイツ語研究	講義	2
フランス語研究	講義	2
スペイン語研究	講義	2
中国語研究	講義	2
韓国語研究	講義	2
メディアを知る		
放送文化論	講義	2
出版文化論	講義	2

広 告 論	講 義	2	
世界を知る			
諸 外 国 と の 国 際 交 流 A (ア ジ ア 圏)	—	2	
諸 外 国 と の 国 際 交 流 B (欧 米 圏)	—	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企 業 等 体 験 実 習	—	1又は2	
社 会 情 報 学 部			
社 会 情 報 学 科			
〔専門教育科目〕			
共 通 専 門 科 目			
コ ン ピ ュ ー タ の 基 礎	講 義	2	
社 会 情 報 概 論	講 義	2	
基 礎 統 計 学	講 義・演 習	2	
ソ フ ト ウ ェ ア 概 論	講 義	2	
情 報 セ キ ュ リ テ ィ 論	講 義	2	
情 報 基 礎 数 学	講 義	2	情報デザイン専攻必修
情 報 処 理 実 習 A	実 習	2	
情 報 処 理 実 習 B	実 習	2	
情 報 と 職 業	講 義	2	
基 礎 社 会 学	講 義	2	
現 代 経 済 学	講 義	2	
情 報 社 会 論	講 義	2	
社 会 政 策 ・ 労 働 問 題	講 義	2	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	講 義	2	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	演 習	2	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	演 習	2	
情 報 倫 理	講 義	2	
情 報 と 法 律	講 義	2	
建 築 ・ 不 動 産 と 社 会	講 義	2	
社 会 生 活 情 報 学 専 攻			
人 文 系			
企 業 と 社 会	講 義	2	
社 会 生 活 関 連 法	講 義	2	
国 際 生 活 情 報 論	講 義	2	
ラ イ フ サ イ ク ル 論	講 義	2	
パ ー ソ ナ リ テ ィ 論	講 義	2	
病 と 健 康 の 心 理 学	講 義	2	
老 い の 心 理 学	講 義	2	

社 会 行 動 論	講 義	2
心 理 統 計 演 習	演 習	2
情 報 表 現 法	講 義	2
情 報 文 化 史	講 義	2
経 済 学 系		
日 本 経 済 論	講 義	2
経 済 史	講 義	2
流 通 論	講 義	2
グ ロ ー バ ル 経 済	講 義	2
現 代 企 業 行 動 論	講 義	2
現 代 資 本 主 義 論	講 義	2
マ ー ケ テ ィ ン グ 情 報 論	講 義	2
ネ ッ ト ワ ー ク 経 済 論	講 義	2
国 際 金 融 論	講 義	2
経 済 学 応 用 研 究	講 義	2
基 礎 経 済 学 II	講 義	2
演 習 ・ 経 済 情 報 分 析	演 習	2
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ サ イ エ ン ス	講 義	2
経 営 学 系		
経 営 戦 略 論	講 義	2
消 費 者 行 動 論	講 義	2
経 営 組 織 論	講 義	2
ブ ラ ン ド 論	講 義	2
コ ン テ ン ツ 産 業 論	講 義	2
地 域 経 営 論	講 義	2
I T ビ ジ ネ ス 論	講 義	2
社 会 学 系		
応 用 社 会 学	講 義	2
グ ロー バ リ ゼ ー シ ョ ン の 社 会 学	講 義	2
ジ ェ ン ダ ー と コ ロ ニ ア リ ズ ム	講 義	2
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン と 社 会	講 義	2
メ デ ィ ア と 社 会 変 容	講 義	2
文 化 と 社 会	講 義	2
量 的 調 査 演 習	演 習	2
メ デ ィ ア 学 系		
メ デ ィ ア 学 基 礎	講 義	2
国 際 情 報 比 較 論	講 義	2
メ デ ィ ア ・ デ ィ ス コ ー ス 演 習	演 習	2
マ ス メ デ ィ ア 論	講 義	2
情 報 行 動 論	講 義	2
ジ ャ ー ナ リ ズ ム 論	講 義	2
オ ル タ ナ テ ィ ブ ・ メ デ ィ ア 論	講 義	2
ソ ー シ ャ ル メ デ ィ ア 論	講 義	2

放 送 論	講 義	2
広 告 論	講 義	2
オ ン ラ イ ン デ ー タ 分 析	講 義・演 習	2
メ デ ィ ア 運 用 演 習	講 義・演 習	2
情 報 処 理		
情 報 分 析 演 習	演 習	2
情 報 リ テ ラ シ ー 演 習	演 習	2
留 学 認 定 科 目		
異 文 化 理 解 I	—	2
異 文 化 理 解 II	—	2
経 営 学 入 門	講 義	2
基 礎 経 済 学 I	講 義	2
社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 I	演 習	2
社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 II	演 習	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ の 基 礎	講 義・演 習	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 演 習	講 義・演 習	2
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル I	演 習	2
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル II	演 習	2
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル III	演 習	2
社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル IV	演 習	2
卒 業 研 究	—	6
環 境 情 報 学 専 攻		
人 間 と 環 境		
生 命 の し く み	講 義	2
環 境 科 学	講 義	2
地 球 環 境 論	講 義	2
住 居 環 境 論	講 義	2
生 命 科 学 と く ら し	講 義	2
食 環 境 論	講 義	2
健 康 と 環 境	講 義	2
環 境 演 習 I	講 義・演 習	2
環 境 演 習 II	講 義・演 習	2
特 殊 講 義 II (く ら し と 環 境)	講 義	2
住 居 の デ ザ イン		
設 計 製 図 の 基 礎	演 習	2
住 居 デ ザ イン 演 習 I	演 習	2
住 居 デ ザ イン 演 習 II	演 習	2
住 居 デ ザ イン	講 義	2
力 と か た ち I	講 義	2
力 と か た ち II	講 義	2
建 築 と 都 市 の 歴 史	講 義	2
建 築 と 社 会	講 義	2

建築インテリア材料	講義	2	
都市デザイン	講義	2	
持続的なくらしと社会			
環境と経済 I	講義	2	
環境と経済 II	講義	2	
環境と法律 I	講義	2	
環境と法律 II	講義	2	
環境と経営	講義	2	
環境マネジメント論	講義	2	
特殊講義 I (社会と環境)	講義	2	
環境資本論	講義	2	
エネルギーと環境	講義	2	
環境との共生			
環境デザイン論	講義	2	
環境保護論	講義	2	
環境アセスメント論	講義	2	
エコロジー II	講義	2	
環境生態デザイン	講義	2	
生態観察実習	実習	2	
ビオトープ論	講義	2	
建築デザイン	講義	2	
環境教育	講義	2	
環境とまちづくり	講義	2	
国際関係と環境法	講義	2	
理科教職課程科目			
生物の基礎 I	講義	2	
生物の基礎 II	講義	2	
物理の基礎 I	講義	2	
物理の基礎 II	講義	2	
化学の基礎 I	講義	2	
化学の基礎 II	講義	2	
地学の基礎 I	講義	2	
地学の基礎 II	講義	2	
物理基礎実験	実験	2	
化学基礎実験	実験	2	
生物基礎実験	実験	2	
地学基礎実験	実験	2	
留学認定科目			
異文化理解 I	—	2	
異文化理解 II	—	2	
環境情報処理論及び実習 I	講義・実習	2	
環境情報処理論及び実習 II	講義・実習	2	
プログラミングの基礎	講義・演習	2	

プログラミング基礎演習	講義・演習	2	
環境情報学基礎演習	演習	2	
環境情報学	講義	2	
居住環境学	講義	2	
生活環境学	講義	2	
エコライフ論	講義	2	
エコロジール I	講義	2	
環境情報学特論	講義	2	
社会情報学ゼミナール I	演習		2
建築・都市ゼミナール I	演習		2
社会情報学ゼミナール II	演習		2
建築・都市ゼミナール II	演習		2
社会情報学ゼミナール III	演習	2	
社会情報学ゼミナール IV	演習	2	
卒業業務研究	—	6	
情報デザイン専攻			
情報基礎			
情報基礎			
情報処理原論	講義	2	
情報数学 A	講義	2	
情報数学 B	講義		2
情報とモデル	講義		2
統計処理及び演習	講義・演習		2
応用統計論及び演習	講義・演習		2
数値計算論	講義		2
情報リテラシー			
情報処理機器概論	講義		2
スマートフォンデバイス論	講義		2
社会情報メディア			
ニューメディア論 I	講義		2
ニューメディア論 II	講義		2
経営情報システム論	講義		2
システムコア			
システム			
情報システム論及び実習 I	講義・実習	2	
情報システム論及び実習 II	講義・実習	2	
情報ネットワーク論及び実習 I	講義・実習		2
情報ネットワーク論及び実習 II	講義・実習		2
オフィスマネジメント論 I	講義		2
オフィスマネジメント論 II	講義		2
情報管理	講義		2
アルゴリズム論及び演習 I	講義・演習		2

アルゴリズム論及び演習Ⅱ	講義・演習		2
プログラミング			
プログラミング入門	講義・演習	2	
プログラミングの基礎	講義・演習	2	
プログラミング基礎演習	講義・演習	2	
プログラミング論及び演習	講義・演習	4	
シミュレーション論	講義		2
スマートデバイス応用Ⅰ	講義・演習		2
スマートデバイス応用Ⅱ	講義・演習		2
オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅰ	講義・演習		2
オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅱ	講義・演習		2
WebプログラミングⅠ	講義・演習		2
WebプログラミングⅡ	講義・演習		2
デザインコア			
情報デザイン			
デザイン論及び演習Ⅰ	講義・演習		2
デザイン論及び演習Ⅱ	講義・演習		2
認知科学	講義		2
デジタルコンテンツ	講義・演習		2
デジタルコンテンツ応用	講義・演習		2
感性デザイン及び演習	講義・演習		2
ウェブデザイン	講義・演習		2
音声・音響デザイン	講義・演習		2
MMデザイン			
インターフェースデザイン論	講義・演習		2
マルチメディア論及び実習Ⅰ	講義・実習		2
マルチメディア論及び実習Ⅱ	講義・実習		2
コンピュータ・グラフィックスⅠ	講義・演習		2
コンピュータ・グラフィックスⅡ	講義・演習		2
画像情報処理論及び演習	講義・演習		2
総合学習			
情報デザイン基礎演習	演習	2	
クリエイティブ思考法	講義・演習		2
社会情報学ゼミナールⅠ	演習		2
社会情報学ゼミナールⅡ	演習		2
社会情報学ゼミナールⅢ	演習		2
社会情報学ゼミナールⅣ	演習		2
卒業研究	—		6
留学認定科目			
異文化理解Ⅰ	—		2
異文化理解Ⅱ	—		2
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			

企業等体験実習	—	1又は2	
スクールインターン	—	1又は2	
ボランティア活動	—	1又は2	
人間関係学部			
人間関係学科			
社会学専攻			
〔専門教育科目〕			
人間関係学部共通科目			
人間関係総論 I	講義	2	
人間関係総論 II	講義		2
人間関係総論 III	講義		2
人間関係総論 IV	講義		2
心理学概論 I	講義		2
心理学概論 II	講義		2
社会学概論 I	講義	2	
社会学概論 II	講義	2	
社会福祉学概論 I	講義		2
社会福祉学概論 II	講義		2
介護福祉学概論	講義		2
社会学基礎セミナー I	演習	2	
社会学基礎セミナー II	演習	2	
社会調査講義 I	講義	2	
社会調査講義 II	講義	2	
社会調査及び演習 I	講義・演習	2	
社会調査及び演習 II	講義・演習	2	
現代社会論セミナー I	演習	2	
現代社会論セミナー II	演習	2	
社会学セミナー I	演習	2	
社会学セミナー II	演習	2	
社会学セミナー III	演習	2	
社会学セミナー IV	演習	2	
卒業論文	—	6	
特論			
女性とライフコース特論 I	講義		2
女性とライフコース特論 II	講義		2
文化とメディア特論 I	講義		2
文化とメディア特論 II	講義		2
職業とコミュニティ特論 I	講義		2
職業とコミュニティ特論 II	講義		2
社会学コア			
基礎統計学 I	講義・演習	2	
基礎統計学 II	講義・演習	2	

現代社会学理論	講義	2
社会学史	講義	2
社会調査特論Ⅰ	講義	2
社会調査特論Ⅱ	講義	2
女性とライフコース		
現代家族論	講義	2
グローバル化とジェンダー	講義	2
ライフコース論	講義	2
ケアの社会学	講義	2
老いと死の社会学	講義	2
子どもと教育の社会学	講義	2
ジェンダーとメンタルヘルス	講義	2
女性と自立支援	講義	2
恋愛と結婚の社会学	講義	2
アイデンティティ論	講義	2
文化とメディア		
文化表象分析入門	講義	2
現代メディア論	講義	2
現代における宗教	講義	2
エスニシティ論	講義	2
サブカルチャーの社会学	講義	2
身体とファッションの社会学	講義	2
情報社会学	講義	2
消費とレジャー	講義	2
職業とコミュニティ		
日常生活論	講義	2
都市とコミュニティの社会学	講義	2
産業と経営	講義	2
医療社会学	講義	2
社会問題の社会学	講義	2
環境社会学	講義	2
集団と組織	講義	2
現代企業論	講義	2
[自由科目]		
(社会体験実習)		
企業等体験実習	—	1又は2
スクールインターン	—	1又は2
ボランティア活動	—	1又は2
人間関係学科		
社会・臨床心理学専攻		
[専門教育科目]		
人間関係学部共通科目		

人間関係総論	I	講義		2
人間関係総論	II	講義	2	
人間関係総論	III	講義		2
人間関係総論	IV	講義		2
心理学概論	I	講義	2	
心理学概論	II	講義	2	
社会学概論	I	講義		2
社会学概論	II	講義		2
社会福祉学概論	I	講義		2
社会福祉学概論	II	講義		2
介護福祉学概論		講義		2
社会・臨床心理学基礎セミナー	I	演習	2	
社会・臨床心理学基礎セミナー	II	演習	2	
社会・臨床心理学基礎セミナー	III	演習	2	
基礎統計学	I	講義・演習	2	
基礎統計学	II	講義・演習	2	
社会心理学概論		講義	2	
臨床心理学概論		講義	2	
心理統計学		講義・演習	2	
社会心理学調査研究法		講義・演習	4	
社会心理学実験研究法		講義・演習	4	
社会・臨床心理学研究法		講義・演習	4	
キャリア心理学セミナー		演習	2	
社会・臨床心理学セミナー	I	演習	2	
社会・臨床心理学セミナー	II	演習	2	
社会・臨床心理学セミナー	III	演習	2	
社会・臨床心理学セミナー	IV	演習	2	
卒業論文		—	6	
対人関係		講義		2
コミュニケーション心理学		講義		2
認知心理学		講義		2
社会的認知の心理学		講義		2
集団心理学		講義		2
心理学特別セミナー	A	演習		2
心理学特別セミナー	B	演習		2
心理検査法セミナー		演習		4
パーソナリティ		講義		2
発達心理学		講義		2
行動計量学		講義・演習		2
コミュニケーション論		講義		2
カウンセリングの理論		講義		2
カウンセリングA(傾聴訓練)		演習		2
カウンセリングB(援助促進技法)		演習		2

グループワーク A (集団形成)	演習	2	
グループワーク B (集団意志決定)	演習	2	
ファッションの社会心理学	講義	2	
障害者心理学	講義	2	
精神分析	講義	2	
家族心理学	講義	2	
心理検査学	講義・演習	2	
逸脱行動論	講義	2	
犯罪と非行の心理学	講義	2	
自己過程の心理学	講義	2	
レジャーの社会心理学	講義	2	
環境の社会心理学	講義	2	
消費行動論	講義	2	
教育心理学	講義	2	
教育相談	講義	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	—	1又は2	
スクールインターン	—	1又は2	
ボランティア活動	—	1又は2	
人間福祉学科			
人間福祉学専攻			
〔専門教育科目〕			
人間関係学部共通科目			
人間関係総論 I	講義	2	
人間関係総論 II	講義	2	
人間関係総論 III	講義	2	
人間関係総論 IV	講義	2	
心理学概論 I	講義	2	
心理学概論 II	講義	2	
社会学概論 I	講義	2	
社会学概論 II	講義	2	
社会福祉学概論 I	講義	2	
社会福祉学概論 II	講義	2	
介護福祉学概論	講義	2	
社会福祉学基礎セミナー I	演習	1	
社会福祉学基礎セミナー II	演習	1	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 I	講義	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 II	講義	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度 I	講義	2	
成年後見制度	講義	2	
高齢者に対する支援と介護保険制度 I	講義	2	

高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	講義		2	
社会保険Ⅰ	講義	2		
社会保険Ⅱ	講義		2	
社会調査の基礎	講義	2		
社会福祉援助技術論Ⅰ－A	講義	2		
社会福祉援助技術論Ⅰ－B	講義	2		
社会福祉援助技術論Ⅱ－A	講義		2	
社会福祉援助技術論Ⅱ－B	講義		2	
社会福祉学セミナーⅠ	演習	1		
社会福祉学セミナーⅡ	演習	1		
社会福祉学セミナーⅢ	演習	1		
社会福祉学セミナーⅣ	演習	1		
卒業論文	－		4	
心理学理論と心理的支援	講義		2	
更生保護制度	講義		2	
社会理論と社会システム	講義		2	
精神保健の課題と支援Ⅰ	講義		2	
精神保健の課題と支援Ⅱ	講義		2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	講義		2	
地域福祉の理論と方法Ⅰ	講義	2		
地域福祉の理論と方法Ⅱ	講義		2	
社会福祉援助技術論Ⅲ－A	講義		2	
社会福祉援助技術論Ⅲ－B	講義		2	
福祉行財政と福祉計画A	講義		2	
福祉行財政と福祉計画B	講義		2	
相談援助演習Ⅰ	演習	1		※1※2 30時間実施
相談援助演習Ⅱ	演習	1		※1※2 30時間実施
相談援助演習Ⅲ	演習	1		※1※2 30時間実施
相談援助演習Ⅳ	演習	1		※1※2 30時間実施
相談援助演習Ⅴ	演習	1		※1※2 30時間実施
家政学概論	講義		2	
就労支援サ－ピス	講義		2	
人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	講義	2		
人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	講義		2	
保健医療サ－ピス	講義		2	
栄養・調理	講義		2	
介護技術	講義・演習		2	
福祉レクリエーション論	講義		2	
福祉レクリエーション援助論	講義		2	
福祉レクリエーション援助技術	演習		1	
福祉レクリエーション総合実習	実習		1	
相談援助実習指導Ⅰ	演習		1	
相談援助実習指導Ⅱ	演習		1	※1 30時間実施

相談援助実習事前指導	演習	1	※1	30時間実施
相談援助実習	実習	4	※1	180時間実施
相談援助実習事後指導	演習	1	※1	30時間実施
社会福祉援助技術専門実習	講義・実習	3		
家政学実習A	講義・実習	2		
家政学実習B	講義・実習	2		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	講義	2		
精神医学Ⅰ	講義	2		
精神医学Ⅱ	講義	2		
精神科リハビリテーション学Ⅰ	講義	2		
精神科リハビリテーション学Ⅱ	講義	2		
精神保健福祉論Ⅰ	講義	2		
精神保健福祉論Ⅱ	講義	2		
精神保健福祉論Ⅲ	講義	2		
精神保健福祉援助技術総論	講義	2		
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	講義	2		
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	講義	2		
精神保健福祉援助演習(基礎)	演習	1		
精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習	1	※2	30時間実施
精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習	1	※2	30時間実施
精神保健福祉援助実習指導	演習	1	※2	30時間実施
精神保健福祉援助実習事前指導	演習	1	※2	30時間実施
精神保健福祉援助実習	実習	3	※2	210時間実施
精神保健福祉援助実習事後指導	演習	1	※2	30時間実施
在宅介護論	講義	2		
ケア・マネジメント論	講義	2		
社会福祉学特別講義Ⅰ(医学・保健・心理学系)	講義	4		
社会福祉学特別講義Ⅱ(社会・工学・情報系)	講義	4		
社会福祉発達史	講義	2		
家族福祉論	講義	2		
国際社会福祉論	講義	2		
福祉サービスの組織と経営	講義	2		
スクールソーシャルワーク論	講義	2		
[自由科目]				
(社会体験実習)				
企業等体験実習	—	1又は2		
スクールインターン	—	1又は2		
ボランティア活動	—	1又は2		
			※印1の科目は、社会福祉士国家試験受験資格を取得する場合、必修となる実習演習科目	

				※印2の科目は、精神保健 福祉士国家試験受験資 格を取得する場合、必修 となる実習演習科目
人 間 福 祉 学 科				
介 護 福 祉 学 専 攻				
〔専門教育科目〕				
人間関係学部共通科目				
人 間 関 係 総 論 I	講 義	2		
人 間 関 係 総 論 II	講 義	2		
人 間 関 係 総 論 III	講 義	2		
人 間 関 係 総 論 IV	講 義	2		
心 理 学 概 論 I	講 義	2		
心 理 学 概 論 II	講 義	2		
社 会 学 概 論 I	講 義	2		
社 会 学 概 論 II	講 義	2		
社 会 福 祉 学 概 論 I	講 義	2		
社 会 福 祉 学 概 論 II	講 義	2		
介 護 福 祉 学 概 論	講 義	2		
社 会 福 祉 学 基 礎 セ ミ ナ ー I	演 習	1		
社 会 福 祉 学 基 礎 セ ミ ナ ー II	演 習	1		
児 童 や 家 庭 対 する 支 援 と 児 童 ・ 家 庭 福 祉 制 度 I	講 義	2		
児 童 や 家 庭 対 する 支 援 と 児 童 ・ 家 庭 福 祉 制 度 II	講 義	2		
障 害 者 対 する 支 援 と 障 害 者 自 立 支 援 制 度 I	講 義	2		
成 年 後 見 制 度	講 義	2		
高 齢 者 対 する 支 援 と 介 護 保 険 制 度 I	講 義	2		
高 齢 者 対 する 支 援 と 介 護 保 険 制 度 II	講 義	2		
社 会 保 障 I	講 義	2		
社 会 保 障 II	講 義	2		
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 I - A	講 義	2		
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 I - B	講 義	2		
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 II - A	講 義	2		
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 II - B	講 義	2		
社 会 福 祉 学 セ ミ ナ ー I	演 習	1		
社 会 福 祉 学 セ ミ ナ ー II	演 習	1		
社 会 福 祉 学 セ ミ ナ ー III	演 習	1		
社 会 福 祉 学 セ ミ ナ ー IV	演 習	1		
卒 業 論 文	-	4		
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病 I	講 義	2		
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病 II	講 義	2		
こ こ ろ と か ら だ の し く み A	講 義	2		
こ こ ろ と か ら だ の し く み B	講 義	2		
発 達 と 老 化 の 理 解	講 義	2		

認	知	症	の	理	解	講義	2								
障	害	の	理	解	A	講義	2								
障	害	の	理	解	B	講義	2								
介	護	の	基	本	A	講義	2								
介	護	の	基	本	B	講義	2								
介	護	の	基	本	C	講義	2								
介	護	の	基	本	D	講義	2								
介	護	の	基	本	E	講義	2								
介	護	の	基	本	F	講義	2								
コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	技	術	A	講義	2		
コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	技	術	B	講義	2		
生	活	支	援	技	術	A	ー	I	演	習	1				
生	活	支	援	技	術	A	ー	II	演	習	1				
生	活	支	援	技	術	B			演	習	2				
生	活	支	援	技	術	C			演	習	2				
生	活	支	援	技	術	D			演	習	2				
生	活	支	援	技	術	E			演	習	2				
介		護	過	程				I	講	義	2				
介		護	過	程	II	ー		A	演	習	2				
介		護	過	程	II	ー		B	演	習	1				
介		護	過	程				III	演	習	1				
介		護	總	合	演	習		I	演	習	1				
介		護	總	合	演	習		II	演	習	1				
介		護	總	合	演	習		III	演	習	1				
介		護	總	合	演	習		IV	演	習	1				
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	論			2		
介		護	実	習	入	門			実	習	1				
介		護	実	習		I			実	習	2				
介		護	実	習		II			実	習	2				
介		護	実	習		III			実	習	4				
介		護	実	習		IV			実	習	1				
医	療	的	ケ	ア		I			講	義		2			
医	療	的	ケ	ア		II			講	義		2			
医	療	的	ケ	ア		III			講義・演習		2				
相	談	援	助	演	習	I			演	習	1		※	30時間実施	
相	談	援	助	演	習	II			演	習	1		※	30時間実施	
相	談	援	助	演	習	III			演	習	1		※	30時間実施	
相	談	援	助	演	習	IV			演	習	1		※	30時間実施	
相	談	援	助	演	習	V			演	習	1		※	30時間実施	
心	理	学	理	論	と	心	理	的	支	援	講	義	2		
更	生	保	護	制	度				講	義		2			
社	会	理	論	と	社	会	シ	ス	テ	ム	講	義	2		
福	社	レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	援	助	講	義	2	

福祉レクリエーション援助技術	演習	1	
福祉レクリエーション総合実習	実習	1	
低所得者に対する支援と生活保護制度	講義	2	
地域福祉の理論と方法Ⅰ	講義	2	2
地域福祉の理論と方法Ⅱ	講義	2	
保健医療サービス	講義	2	
社会福祉援助技術論Ⅲ－A	講義	2	
社会福祉援助技術論Ⅲ－B	講義	2	
福祉行財政と福祉計画A	講義	2	
福祉行財政と福祉計画B	講義	2	
相談援助実習指導Ⅰ	演習	1	
相談援助実習指導Ⅱ	演習	1	※ 30時間実施
相談援助実習事前指導	演習	1	※ 30時間実施
相談援助実習	実習	4	※ 180時間実施
相談援助実習事後指導	演習	1	※ 30時間実施
社会福祉援助技術専門実習	講義・実習	3	
社会福祉学特別講義Ⅰ(医学・保健・心理学系)	講義	4	
社会福祉学特別講義Ⅱ(社会・工学・情報系)	講義	4	
介護福祉学特別講義Ⅰ(介護福祉学系)	講義	2	
介護福祉学特別講義Ⅱ(介護技術系)	講義	4	
福祉サービスの組織と経営	講義	2	
社会調査の基礎	講義	2	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	講義	2	
就労支援サービス	講義	2	
〔自由科目〕			
(社会体験実習)			
企業等体験実習	－	1又は2	
スクールインターン	－	1又は2	
ボランティア活動	－	1又は2	
			※印の科目は、社会福祉士 国家試験受験資格を 取得する場合、必修 となる実習演習科目
比較文化学部			
比較文化学科			
〔専門教育科目〕			
日本文化			
日本の歴史と風土	講義	2	
日本の社会と民俗	講義	2	
日本の思想と宗教	講義	2	
日本の美術	講義	2	
日本の近代化と世界	講義	2	

国際関係・国際交流						
文	化	交	流	論	講義	2
国	際	関	係	論	講義	2
国	家	と	民	族	講義	2
多	国	籍	企	業	講義	2
比較文化						
異	文化	間	コ	ミュ	ニ	ケ
異	文化	間	コ	ミュ	ニ	ケ
比	較	文	学	論	I	講義
比	較	文	学	論	II	講義
比	較	演	劇	論	I	講義
比	較	演	劇	論	II	講義
言	語	科	学	入	門	I
言	語	科	学	入	門	II
国	際	政	治	経	済	論
国	際	政	治	経	済	論
基礎						
比	較	文	化	論	講義	2
比	較	社	会	論	講義	2
比	較	文	化	入	門	講義
日	本	文	学	I	(古
日	本	文	学	II	(近
日	本	に	お	け	る	異
ジ	ェ	ン	ダ	ー	論	講義
表	象	文	化	論	講義	2
外国語						
フ	ラ	ン	ス	語	V	演習
フ	ラ	ン	ス	語	VI	演習
ド	イ	ツ	語	V	演習	1
ド	イ	ツ	語	VI	演習	1
ス	ペ	イ	ン	語	V	演習
ス	ペ	イ	ン	語	VI	演習
ロ	シ	ア	語	V	演習	1
ロ	シ	ア	語	VI	演習	1
中	国	語	V	演習	1	
中	国	語	VI	演習	1	
韓	国	語	V	演習	1	
韓	国	語	VI	演習	1	
アジア文化						
ア	ジ	ア	研	究	入	門
ア	ジ	ア	研	究	入	門
ア	ジ	ア	研	究	入	門
ア	ジ	ア	研	究	入	門

アジア研究入門 C I (文学と芸術)	講義	2
アジア研究入門 C II (文学と芸術)	講義	2
アジア文化研究 A I (近代文学)	講義	2
アジア文化研究 A II (近代文学)	講義	2
アジア文化研究 B I (政治と経済)	講義	2
アジア文化研究 B II (政治と経済)	講義	2
アジア文化研究 C I (芸術と思想)	講義	2
アジア文化研究 C II (芸術と思想)	講義	2
アジア文化研究 D I (歴史と風土)	講義	2
アジア文化研究 D II (歴史と風土)	講義	2
アジア文化研究 E I (宗教と文学)	講義	2
アジア文化研究 E II (宗教と文学)	講義	2
アメリカ文化		
アメリカ研究入門 A I (文化と社会)	講義	2
アメリカ研究入門 A II (文化と社会)	講義	2
アメリカ研究入門 B I (思想と宗教)	講義	2
アメリカ研究入門 B II (思想と宗教)	講義	2
アメリカ研究入門 C I (文学と芸術)	講義	2
アメリカ研究入門 C II (文学と芸術)	講義	2
アメリカ文化研究 A I (伝統と倫理)	講義	2
アメリカ文化研究 A II (伝統と倫理)	講義	2
アメリカ文化研究 B I (価値観と夢)	講義	2
アメリカ文化研究 B II (価値観と夢)	講義	2
アメリカ文化研究 C I (歴史と風土)	講義	2
アメリカ文化研究 C II (歴史と風土)	講義	2
アメリカ文化研究 D I (政治と経済)	講義	2
アメリカ文化研究 D II (政治と経済)	講義	2
アメリカ文化研究 E I (文学)	講義	2
アメリカ文化研究 E II (文学)	講義	2
ヨーロッパ文化		
ヨーロッパ研究入門 A I (文化と社会)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 A II (文化と社会)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 B I (思想と宗教)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 B II (思想と宗教)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 C I (イギリス文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 C II (イギリス文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 D I (フランス文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 D II (フランス文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 E I (ドイツ文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ研究入門 E II (ドイツ文学と芸術)	講義	2
ヨーロッパ文化研究 A I (地中海文明とヨーロッパ)	講義	2
ヨーロッパ文化研究 A II (地中海文明とヨーロッパ)	講義	2
ヨーロッパ文化研究 B I (政治と経済)	講義	2

ヨーロッパ文化研究 B II (政治と経済)	講義	2
ヨーロッパ文化研究 C I (芸術と思想)	講義	2
ヨーロッパ文化研究 C II (芸術と思想)	講義	2
イギリス文化研究 I (歴史と風土)	講義	2
イギリス文化研究 II (歴史と風土)	講義	2
フランス文化研究 I (歴史と風土)	講義	2
フランス文化研究 II (歴史と風土)	講義	2
ドイツ文化研究 I (歴史と風土)	講義	2
ドイツ文化研究 II (歴史と風土)	講義	2
ロシア文化研究 I (歴史と風土)	講義	2
ロシア文化研究 II (歴史と風土)	講義	2
比較文化セミナー I	演習	2
比較文化セミナー II	演習	2
卒業論文	—	6
言語		
現代中国語基礎セミナー A I (理解)	演習	1
現代中国語基礎セミナー A II (理解)	演習	1
現代中国語基礎セミナー B I (表現)	演習	1
現代中国語基礎セミナー B II (表現)	演習	1
現代中国語基礎セミナー C I (総合)	演習	1
現代中国語基礎セミナー C II (総合)	演習	1
現代中国語中級セミナー I	演習	1
現代中国語中級セミナー II	演習	1
現代英語中級セミナー A I (理解)	演習	1
現代英語中級セミナー A II (理解)	演習	1
現代英語中級セミナー B I (表現)	演習	1
現代英語中級セミナー B II (表現)	演習	1
現代英語中級セミナー C I (総合)	演習	1
現代英語中級セミナー C II (総合)	演習	1
現代英語上級セミナー I	演習	1
現代英語上級セミナー II	演習	1
現代フランス語基礎セミナー A I (理解)	演習	1
現代フランス語基礎セミナー A II (理解)	演習	1
現代フランス語基礎セミナー B I (表現)	演習	1
現代フランス語基礎セミナー B II (表現)	演習	1
現代フランス語基礎セミナー C I (総合)	演習	1
現代フランス語基礎セミナー C II (総合)	演習	1
現代フランス語中級セミナー I	演習	1
現代フランス語中級セミナー II	演習	1

現代ドイツ語基礎セミナー A I (理解)	演習	1
現代ドイツ語基礎セミナー A II (理解)	演習	1
現代ドイツ語基礎セミナー B I (表現)	演習	1
現代ドイツ語基礎セミナー B II (表現)	演習	1
現代ドイツ語基礎セミナー C I (総合)	演習	1
現代ドイツ語基礎セミナー C II (総合)	演習	1
現代ドイツ語中級セミナー I	演習	1
現代ドイツ語中級セミナー II	演習	1
関連科目		
ア ジ ア の 美 術	講義	2
ア ジ ア の 都 市	講義	2
日 韓 関 係 論	講義	2
日 中 関 係 論	講義	2
ア メ リ カ の ジ ャ ー ナ リ ズ ム	講義	2
ア メ リ カ の 都 市	講義	2
日 米 関 係 論	講義	2
大 衆 消 費 社 会 論	講義	2
ヨ ー ロ ッ パ 統 合 の 思 想	講義	2
日 欧 関 係 論	講義	2
イ ス ラ ム の 文 化 と 社 会	講義	2
現 代 中 近 東 事 情	講義	2
現 代 ロ シ ア ・ 東 欧 事 情	講義	2
口 承 文 芸 と 民 間 信 仰	講義	2
多 民 族 ・ 多 文 化 社 会	講義	2
比 較 文 化 演 習 1 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 1 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 2 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 2 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 3 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 3 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 4 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 4 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 5 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 5 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 6 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 6 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 7 - I	演習	2
比 較 文 化 演 習 7 - II	演習	2
比 較 文 化 演 習 8 - I	演習	2

比較文化演習	8	-	II	演習	2
比較文化演習	9	-	I	演習	2
比較文化演習	9	-	II	演習	2
比較文化演習	1	0	-	I	2
比較文化演習	1	0	-	II	2
比較文化演習	1	1	-	I	2
比較文化演習	1	1	-	II	2
比較文化演習	1	2	-	I	2
比較文化演習	1	2	-	II	2
比較文化演習	1	3	-	I	2
比較文化演習	1	3	-	II	2
比較文化演習	1	4	-	I	2
比較文化演習	1	4	-	II	2
比較文化演習	1	5	-	I	2
比較文化演習	1	5	-	II	2
比較文化演習	1	6	-	I	2
比較文化演習	1	6	-	II	2
比較文化演習	1	7	-	I	2
比較文化演習	1	7	-	II	2
比較文化演習	1	8	-	I	2
比較文化演習	1	8	-	II	2
比較文化演習	1	9	-	I	2
比較文化演習	1	9	-	II	2
比較文化演習	2	0	-	I	2
比較文化演習	2	0	-	II	2
比較文化演習	2	1	-	I	2
比較文化演習	2	1	-	II	2
比較文化演習	2	2	-	I	2
比較文化演習	2	2	-	II	2
比較文化演習	2	3	-	I	2
比較文化演習	2	3	-	II	2
諸外国との国際交流Ⅰ(アジア圏)				-	2
諸外国との国際交流Ⅱ(アメリカ圏)				-	2
諸外国との国際交流Ⅲ(ヨーロッパ圏)				-	2
諸外国との国際交流Ⅳ(オセアニア圏)				-	2
〔自由科目〕					
(社会体験実習)					
企業等体験実習				-	1又は2
スクールインターン				-	1又は2

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	—		1又は2	
--------------------------------------	---	--	------	--

別表（２）

授 業 科 目	授業形態	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
〔教職に関する専門教育科目〕				
教 職 入 門	講義	2		
教 育 原 理	講義	2		
教 育 心 理 学	講義	2		
青 年 心 理 学	講義		2	
教 育 制 度 要 説 (含 学 校 経 営)	講義	2		
教 育 課 程 論	講義	2		
教 育 史	講義		2	
教 育 の 方 法 と 技 術	講義	2		
家 庭 科 教 育 法 I	講義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 II	講義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 III	講義	2		「家庭」のみ必修
家 庭 科 教 育 法 IV	講義	2		「家庭」のみ必修
国 語 科 教 育 法 I	講義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 II	講義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 III	講義	2		「国語」のみ必修
国 語 科 教 育 法 IV	講義		2	
英 語 科 教 育 法 I	講義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 II	講義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 III	講義	2		「英語」のみ必修
英 語 科 教 育 法 IV	講義		2	
情 報 科 教 育 法 I	講義	2		「情報」のみ必修
情 報 科 教 育 法 II	講義	2		「情報」のみ必修
理 科 教 育 法 I	講義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 II	講義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 III	講義	2		「理科」のみ必修
理 科 教 育 法 IV	講義		2	
福 祉 科 教 育 法 A	講義	2		「福祉」のみ必修
福 祉 科 教 育 法 B	講義	2		「福祉」のみ必修
道 徳 教 育 要 説	講義		2	中一種免必修
特 別 活 動 要 説	講義	2		
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	講義	2		中高一種免のみ必修
生 徒 指 導 論	講義	2		栄教一種・二種免のみ必修
教 育 相 談	講義	2		
教 育 実 習 I	実習	2		中高一種免必修
教 育 実 習 II	実習		2	中一種免必修
教 育 実 習 指 導 I	講義	2		中高一種免必修
教 育 実 習 指 導 II	講義	2		中高一種免必修
栄 養 教 育 実 習 (含 事 前 事 後 指 導)	実習	2		栄教一種・二種免必修

教職実践演習（中・高）	演習	2		中高一種免必修
教職実践演習（栄養教諭）	演習	2		栄教一種・二種免必修

別表（3）

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考
		必修	選択	
〔図書館司書に関する専門科目〕				
生涯学習概論	講義	2		
図書館概論	講義	2		
図書館制度・経営論	講義	2		
図書館情報技術論	講義・演習	2		
図書館サービス概論	講義	2		
情報サービス論	講義	2		
児童サービス論	講義・演習	2		
情報サービス演習（1）	演習	1		
情報サービス演習（2）	演習	1		
図書館情報資源概論	講義	2		
情報資源組織論	講義	2		
情報資源組織演習	演習	2		
図書館基礎特論	講義		1	
図書館サービス特論（1）	講義		1	
図書館サービス特論（2）	講義		1	
図書館情報資源特論（1）	講義		1	
図書館情報資源特論（2）	講義		1	
図書館・図書館史	講義		1	
図書館施設論	講義		1	
図書館総合演習	演習		1	

別表（4）

授 業 科 目	授業形態	単位数		備 考
		必修	選択	
〔学校図書館司書教諭に関する専門科目〕				
学校経営と学校図書館	講義	2		
図書館情報資源概論	講義	2		
情報資源組織論	講義	2		
学習指導と学校図書館	講義	2		
読書と豊かな人間性	講義	2		
情報メディアの活用	講義	2		

別表（５）

授 業 科 目	授業形態	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
〔学芸員に関する専門科目〕				
生涯学習概論	講義	2		
博物館概論	講義	2		
博物館経営論	講義	2		
博物館資料論	講義	2		
博物館資料保存論	講義	2		
博物館展示論	講義	2		
博物館教育論	講義	2		
博物館情報・メディア論	講義	2		
博物館実習	実習	3		
文化史 A	講義		2	
文化史 B	講義		2	
美術史 A	講義		2	
美術史 B	講義		2	
美術の世界	講義		2	
考古学の世界	講義		2	
民俗学 A	講義		2	
民俗学 B	講義		2	
生活の物理	講義		2	
生活の化学	講義		2	
人類の進化	講義		2	

